音脈

ONMYAKU

VOL.64

東京文化会館
公演情報

10-12 2016 AUTUMN

interview & essay

長塚京三＆原田美枝子 *2-4*

ゴンサロ・ルバルカバ *5*

タチアナ・ヴァシリエヴァ *6*

Music Festival TOKYO *7-8*

東京文化会館主催公演 *9-12*

column

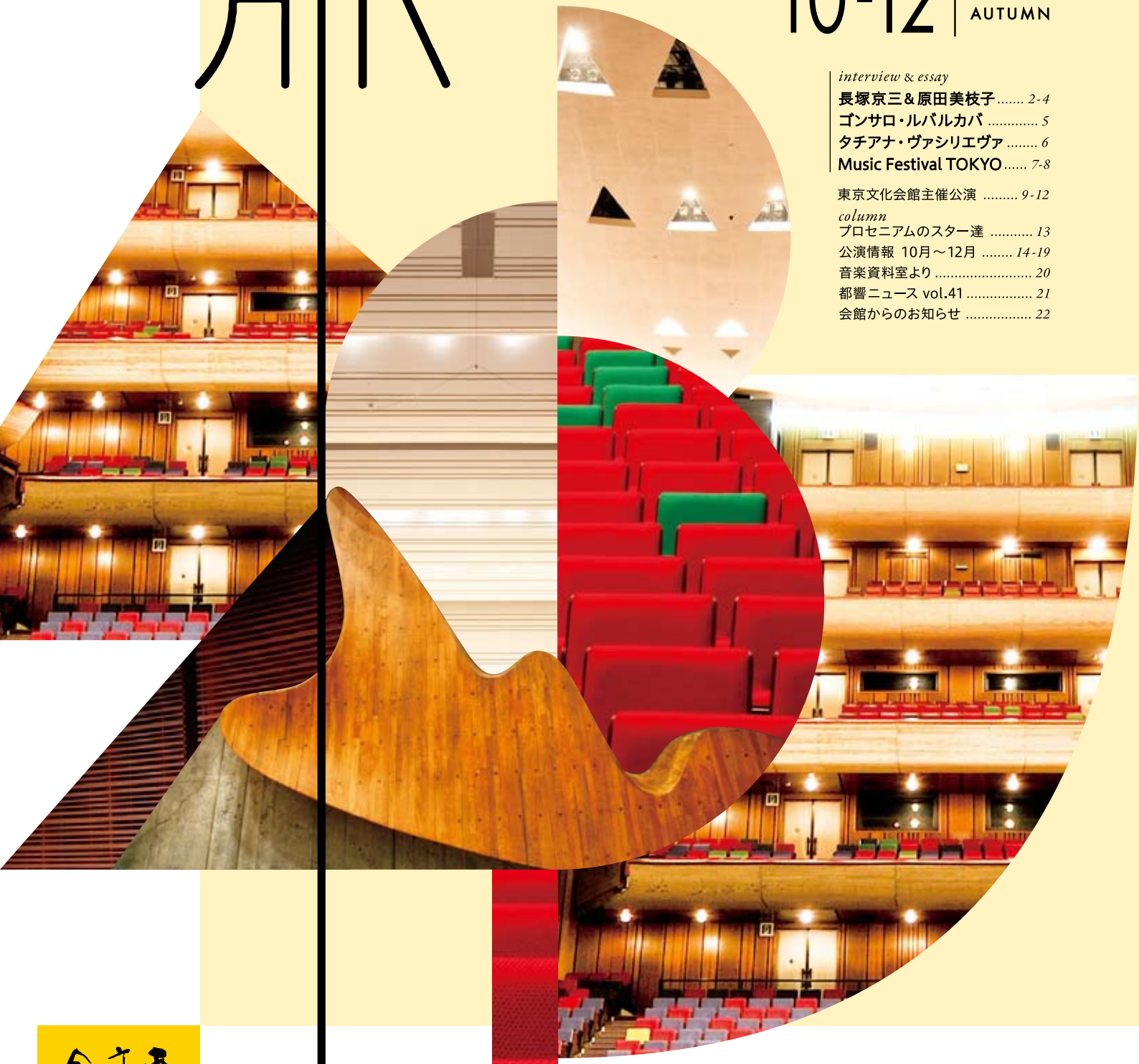
プロセニアムのスター達 *13*

公演情報 10月～12月 *14-19*

音楽資料室より *20*

都響ニュース vol.41 ..... *21*

会館からのお知らせ *22*



東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

interview 01

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念
オペラ「眠れる美女～House of the Sleeping Beauties～」

長塚京三 & 原田美枝子

取材・文／小田島久恵（音楽・舞踊ライター）　写真／青柳 聡

川端康成の退廃的な中編小説をオペラとダンスと演劇の融合によって幻想的に舞台化した、『眠れる美女～House of the Sleeping Beauties～』が、12月に日本初演される。ベルギーを代表する演出家のギー・カシアスと作曲家のクリス・デフォートが共同で台本を書き、シディ・ラウビ・シェルカウイが振付を担当したこの作品は2009年の初演以来高い評価を得て、ベルギー国内にとどまらず欧州各地のオペラハウスで上演を重ねてきた。東京文化会館開館55周年の節目に初演される日本版では、演劇部分は日本語、歌唱部分は原語（英語）で上演され、ダンサーはオリジナル・キャストの伊藤郁女が担当。こんこんと眠り続ける若い女性と「添い寝をする」ための館に繁く通う老人を長塚京三が演じ、館の女主人を原田美枝子が演じる。西洋の舞台人が作り上げた川端文学の世界を、日本人の著名俳優が演じる…という、またとない貴重な機会だ。インタビューは日本版の台本もまだ出来ていない段階で行われたが、両氏ともこのプロダクションに大きな期待を寄せ、意欲的に答えてくれた。

―日本の文豪・川端康成の原作をベルギーのクリエイターがオペラという形で作り上げた舞台に参加されるわけですが、これは日本側のキャストにしてみるととても興味深い状況ですよね。

長塚京三「われわれが読書という体験の中で陰々滅滅とした雰囲気で文学的に完結させてきたものを、外国人がオペラにするというアイデアが面白いなと思いました。映画でも小説でも、西洋人が日本のものに手を加えると、概ねラショナル（合理的）な手法になると思うのですが、それは芸術的な優劣といったことを超えて、強い説得力をもつ表現になるんです。川端さんは西洋的な教育を受けた人だし、案外それが正しいのかも知れない。日本人が青年時代に読んで、わりと狭苦しく解釈してきた川端作品を、オペラという「いいもの」のために力強く溢れ出させる、それも我々と違う文化圏の人たちがやった…というのは、とてもポジティヴなことだと思います」

原田美枝子「私は原作を読んで、オペラの録画を見せていただいたのですが、最初は『何が起きているんだろう』と必死に映像を目で追っていました。一生懸命見ていたら、コンテンポラリー・ダンスをやっている一番下の娘がシェルカウイさんの名前を見つけて『お母さん、この人すごい人だよ』と教えてくれたり（笑）。あとは、純粋に興味が湧きましたね。これを自分がやることになったらどうなるんだろうと。そのあとに原作を読んで、小説の印象と、役者や歌手やダンサーが舞台で動いている感じが、日本人にしてみると違和感があると思いました。お茶をいれる仕草にしても、襟が大きく空いた着物の着方にしても、西洋人から見た日本人の所作なんです。それを日本人がやるのは冒険ですし、意外性もある。私たちにとっては、冒険のほうが楽しいんですね」

長塚「同じ原作でも、西洋人は違う発想で演繹していく。僕が演じる老人役も、一人称の内省を大勢の人が役割分担して表現するんです。日本人じゃないから考え方が違うんだけど、そこにどう入っていくかは本当に冒険ですね」

原田「私たちが翻訳ものでシェイクスピアをやったりするときと状況は似ているかも知れません。エリザベス一世をやったことがあるんですけど…イギリス人からしてみたら、とんでもないと思うんですよ。芝居だから出来ちゃうわけで。それが今回は反対になるんだと思います。それと、私は歌手ではないから、東京文化会館の舞台に立てるということも、今後ないと思うんです。オペラに出るということもないと思うし。そこに立つことが出来るのはよほどすごいダンサーか音楽家でないと…俳優の自分がそこに立てることが、すごくドキドキして嬉しい。伝統ある舞台で、色々な感銘を受けた場所ですから」

―オペラ座の幽霊ではないですが、東京文化会館にも由緒ある幽霊がいる感じがしますね。

原田「そうですね。その人たちにダメダメ、と言われないようにしないと（笑）」

―（笑）俳優さんと作品の関係というのは、偶然ではないと思うこともあります。それまでの仕事や生き方が、どうしようもなく作品のほうを引き付けてしまう、そのプロダクションに「呼ばれてしまう」というケースが多いのではないでしょうか？

長塚「…この年になるとね、いわゆるテーマを背負うようなホン（脚本）がないんです。日本だと。海外だからすべていいというわけではないんですが、一人の俳優があるテーマを背負って作品を撮り続ける、ということをしている人もいる。そういう役をいつも待ってるわけです。テーマを背負えるような…さもなくば、自分で書くしかないわけですから。シナリオにしろ戯曲にしろ。待たなきゃならないのがちょっと悔しいんだけど…どんどん年もとっていきますしね。今回は、老人の話でしょ。僕も老人だから「もろ」だし、あまりにも生な感じ。それくらい自分とテーマの重なり合いがあるんです。老いていく恐怖とか、そう長くない先に死ぬ恐怖とか。そういうものとの闘いです。だからやっぱり、僕の世代の俳優にしてみると、これは冒険なんですよ。人の言うことを一生懸命聞いて「まねび」みたいなことをして出来ることなのか分からないけれど。多分、案ずるより産むが易し、ですよね。稽古で何が出てくるかわからないと思います」

―演出のギー・カシアスさんのビデオ・メッセージなどを拝見すると、作品への愛情が凄いですし、賢い方ですから、日本の役者の意見も取り入れて作っていくのではないかと思います。

長塚「昨年オーディションでお会いした際に、作品への思いなどを聞き、フレキシブルな方だと感じましたので、いい方向にいくらでも変化させていくことが出来ると信じています」

―原作の日本語の質感というのは、やはり独特のものがありますか？

長塚「小説を読むと、ずいぶん貧しい感じがしますよね。時代背景にしても、海辺の旅館という設定にしても。てかてかに光った廊下や階段がある建物、と僕は想像するんだけど。もともとは人の別荘だったのかも知れないけど、結構階段なんかも急だったり手狭だったり。そういう異質なところに出かけていく僕というのが、なんというか、しょぼいというか、渋いという感じがするのね。原作はそういうところが面白い。原田さんとの会話も、結構おかしいんだよね。普通に話していると。力関係とかやり取りとかが、現実ではありえない。『転ばないでくださいね』と言われて『僕はそんな老人じゃない。老

人ばかり来るところなのか』と言い合うシーンが出てきたり」
原田「電気毛布も出てきますね。多分、当時は電気毛布がとてもハイカラなものだったんですね(笑)」
長塚「アメリカ製だから、とか自慢するんだよね。三夜目に身体の大きな娘が亡くなるのは、電気毛布が取れてしまったからなのかな?原作でもそこはわからないんだけど。飲まされている眠り薬のアレルギーかも知れない」
原田「時代的に、1960年代の初めの話なんですよね」
長塚「だから、眠り薬というのも結構危ない薬だったり、そういう要素があるのかも知れない。それにしても、館の女将はどういう生活をしているか背景が全然わからない人なんだよね」
原田「置屋の女将みたいな存在でしょうね。客と共犯関係にあって、秘密を共有している。西洋の人たちはそういうのを、どこかで割り切っていますね。切り捨てて考えているというか。オペラでは原作とは何かしら違うものが出ているように思いました」

―眠りの美女たちの館の女主人を、悪役として演じようか、別のものとして演じようか、原田さんにプランはありますか?

原田「そこが面白いところなんでしょうね。この設定は、川端さんが男の人の心を表すために考えたわけでしょう? 海辺の秘密クラブというのは」
長塚「背徳的なバックグラウンドがありますよね。ひとつ間違えば、薬を飲ませて眠らせるということや、売春宿まがいの営業や、青少年の虐待の問題もあるわけで…」
原田「女将には女の敵みたいなところがありますね。色々全部含めて興味深い。全部見えているようで見えていないんです。いいものも悪いものもあるけれど、「この家に悪はない」と抜け抜けと言うところも、確信犯的なところがあると思います。女主人に感情があったら、この話は成り立たないんです」
長塚「若い女性と一晩過ごすということもさることながら、僕の役はこの人に会いに来ているような気がする。冗談を言ったりなんかしながら」

―それは深いです!
長塚「訳を知る者同士が「お前らは不潔だなぁ」と思われながらも、置屋の女将と情念の爺さんのようなやり取りをしている。売春防止法とかがある世相の中で、かなりユニークな館でしょ?「そうでゲス」みたいな下町言葉、原作にもあるよね。女将さんのセリフにしても」

―川端さんの願望や妄想も女将の描き方に表れているのかも知れません。
長塚「本質の部分では、もっとグローバルでユニバーサルな「老いることの恐怖」というテーマを掘り下げているんですけどね。若い女性と一夜を過ごすことが、死の恐怖を取り除くことになるのか、恐怖に打ち勝つことになるのか。一人で死ぬことが怖い男にとって、若い子たちと添い寝をして、そういう場を設けさせてもらうことで、次の朝「あ、生きよう」と思って生きることになるのか…。川端さんは、一切負けてしまったでしょ。自殺されてしまったんですよね。彼にとって老いと死の恐怖は切実な問題だったかも知れない」

―川端さんご自身が、睡眠薬中毒だったというエピソードもありますね。
長塚「この作品の音楽的なところを僕はまだ詳しくわかっていないんだけど、オペラとしてどうなんですか? アリアのようなものはないですよね」

―そうですね…19世紀のオペラの要素はないです。20世紀以降の前衛的なオペラの流れを継いでいるようにも思えますし、耽美的というより不安や焦燥が音楽的に強調されているように感じられました。
長塚「僕が演じる役は、いい年をして、インテリで知識や経験もある男が、恐怖を克服するために若い女性のところに通うわけだから、音楽的にも若い女が勝ち誇っているようなものかと思いきや、音楽は神経質な感じがしますね。メロディアスに情感をたゆたう、みたいなのはない」
原田「物語の行間が色んな音楽で埋められていますよね。クリエイトしていく空間が沢山あると思います。ここはもっと色々作れるぞ、とか、演出家との作業で埋まっていくものがたくさんあると思います」
長塚「完成まで作り上げていくのはなかなか大変ですよね。コーラスとの掛け合いもあるし。ベルギーで上演された2009年版の映像では、俳優とバリトン歌手が大変よく似ていたけど、僕の場合そこはいっさい切り離して作っていくことになるかも知れない。難しいと思うのは、これは部屋の中の話ですよね。それを東京文化会館の大ホールで演じたとき、奥のほうから見た人は表現として伝わるのかどうか。セリフはマイクを通してやるというから、大きく張る必要はないんですが。囁くような喋りもするだろうし、そこは僕たちが映画でやっていることに近くなると思います。最後、「ああ」というセリフで終わるのですが…それは絶望なのか驚きなのかセックスなのか、ただ「あ」がふたつ並んで「ああ」と書かれているんです。そこに合わせて、歌手も役者も「ああ」とやるんですが…作家の胸三寸ですよね。川端さんのその書き方はずるい、何なんだ、と思ってしまいます(笑)」

公演情報 P9参照

© Yasuhisa Yoneda

essay 01

Music Program TOKYO
小曽根 真&ゴンサロ・ルバルカバ
"Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団
プラチナ・シリーズ 第3回「ゴンサロ・ルバルカバ〜キューバが誇る世界的ジャズ・ピアニスト〜」

ゴンサロ・ルバルカバ(ピアノ)

小曽根 真とのバルトークと、ソロ・ピアノ・リサイタル。キューバの至宝、ゴンサロ・ルバルカバの"今"を知る2つの夜。

文/藤本史昭(音楽ライター)

生(なま)のゴンサロ・ルバルカバをはじめて観たのは1991年8月、初来日した彼がマウント・フジ・ジャズ・フェスティバルに出演した時のことだった。

仰天した。超高速にもかかわらず音の粒が微塵も崩れない強靱なテクニック。ラテン・アメリカの音楽家ならではの色彩豊かなリズム・フィギュア。スタンダード・ナンバーの演奏にみせる斬新な解釈。…キューバにとんでもないピアニストがいるらしいという噂は以前からジャズ業界では広まっていたし、ブレイクのきっかけとなったモントルー・ジャズ・フェスティバルのライヴ・アルバムもすでにリリースされていたけれど、直に接したその演奏は、CDから受けた衝撃をはるかに超えるものだった。

「これからしばらくはこの人から目が離せない」…僕ばかりではなく、会場に居合わせた多くのファンはそう思ったに違いない。果たして、直後からゴンサロは日本のジャズ・シーンを席巻。スイングジャーナル誌ジャズ・ディスク大賞金賞の2年連続受賞、アメリカのリンカーン・センターにおけるコンサート(コンサートがおこなわれた93年当時、キューバとアメリカの国交は断絶状態だった)といった快挙を次々と成し遂げ、彼はまたたく間にニュー・スターへの階段を駆け上がっていったのだった。

そんなゴンサロに若干の変化が見られはじめたのは、90年代後半だっただろうか。派手な超絶技巧よりも、沈潜していくような内省的表現がより目立つようになってきたのだ。

もっともそういう特質は元々彼の中にあったもので、だからそれは変化というよりも、その特質の占める割合が大きくなったというほうが正確なのだが、いずれにせよ、そういうアプローチを採るようになったことでゴンサロの音楽は、より一層の凄味を増すことになった。とりわけソロやデュオといった小編成でのパフォーマンス── 囁くようなピアニッシシモや、時間感覚が麻痺してしまうようなテンポ設定。そして時折挿入される小爆発のような超高速パッセージ等々── は、極度の集中を強いるためきく者を消耗させるが、その見返りとしてもたらされる喜びと充足感は言葉に尽くせぬほど大きい。2000年代になってからゴンサロは4度のグラミーに輝いているが、そのうちの3つがソロ・ピアノと、チャーリー・ヘイデン(ジャズ・ベースの巨匠で、ゴンサロを西側に紹介した恩人。2014年死去)とのデュオ作という事実は、まさにそのことの証左といえるだろう。

さて、そのゴンサロがこの秋、東京文化会館の2つの公演に出演する。

1つは「"Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団」。我が国を代表するピアニスト、小曽根 真がホストとなり、世界のジャズ・ミュージシャンをゲストに、ジャンルを超越した"音楽"を届けてくれるこのコンサートには、これまでパキート・デリヴェラ、アルトゥーロ・サンドヴァル、ブランフォード・マルサリスといった超一流のアーティストが出演し、クラシックの名曲やジャズ・セッションを通して刺激的な時間を提供してくれたが、"同業者"であるピアニストとの共演は今回がはじめて。それだけでも興味をかき立てられるのに、選ばれた曲がバルトークの「2台のピアノと打楽器のための協奏曲」とくれば、音楽ファンなら黙って見過ごすわけにはいくまい。近現代クラシックの最重要キーマンにして、チャーリー・パーカーやマイルス・デイヴィスにも影響を与えた大作曲家、バルトークの傑作を、現代ジャズ・シーンの最先端をゆく2人が弾く。これぞ"Jazz meets Classic"というテーマの、最高の具現化といっても過言ではあるまい。また第2部のジャズ・セッションも見逃せない。"ピアノで表現すること"にかけてはともに引けを取らない小曽根とゴンサロが繰り広げるスリリングな即興演奏は、まちがいなく我々を未知の世界へと誘ってくれるはずだ。

そしてもう1つが、小ホールでおこなわれるプラチナ・シリーズのソロ・ピアノ公演だ。先に述べたように、ゴンサロのソロ・パフォーマンスは世界的にもきわめて高い評価を得ているが、それを至高の音響美を誇る"文化の小"で至近に体験できるなどという贅沢は、なかなか味わえるものではない。磨き抜かれたピアニズムが織りなす妥協なき美の世界をこの場所で。ぜひ1人でも多くの方に体験していただきたい。

公演情報 P11参照

©Sasha Gusov

essay 02

Music Program TOKYO
プラチナ・シリーズ 第4回「タチアナ・ヴァシリエヴァ
～無伴奏チェロの若き至宝～」

タチアナ・ヴァシリエヴァ（チェロ）

200年の時を超えた2大無伴奏チェロ作品を
濃密且つ躍動的に奏でる究極の一夜。
多彩な活躍を続ける名花の“いま”を体感する！

文／柴田克彦（音楽ライター）

2008年11月、ユーリ・テミルカーノフ指揮／サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団の日本公演で、チャイコフスキーの「ロココ風の主題による変奏曲」のソロを弾いたのが、タチアナ・ヴァシリエヴァだった。そのとき筆者は、同曲の納得できる生演奏を初めて聴いた。この曲を生で完璧に弾くのは意外に難しく、高音の箇所で音程が外れる、快速部分を弾き飛ばすなどの例が実に多い。しかしヴァシリエヴァは、全ての音を正確に弾いた上に、自然な情感を湛えながら、楽曲の最上の魅力を表出した。そして彼女は、忘れ難い存在となった。

ロシアに生まれた彼女は、1994年ミュンヘン国際コンクールで第2位を獲得。ベルリンでダーヴィド・ゲリンガスに師事し、2001年ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクールで第1位を獲得した。同楽器の最高峰のコンクール2つの受賞だけでも実力の高さが分かるし、揺るぎのないテクニックは、師のゲリンガス譲りでもあろう。

以後、ヨーロッパを中心に活躍を続け、これまでに、パリ管、チューリッヒ・トーンハレ管、ベルリン・ドイツ響等と、ロストロポーヴィチ、エッシェンバッハ、P.ヤルヴィ等の指揮で共演している。室内楽にも積極的に取り組み、ロッケンハウスをはじめ数多くの国際音楽祭に出演。バシュメット、クレーメル、ヴェンゲーロフらと共演し、ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団のメンバーでもある。

そして、大の日本贔屓だ。彼女には、2度インタビューしたことがある。最初は2009年、フランスのナントにおけるラ・フォル・ジュルネ音楽祭の会場だった。当時彼女は、「日本にいても外国人じゃないような気がします。寿司、鍋、蕎麦……食事は何でも大好き」と語っていた。2度目は2014年の東京。このときも「日本にはもう数えきれないほど来ています。友だちが多く、文化も大好きで、色々な面に愛着を感じています。日本語も勉強し、昨年の公演後は京都に2週間いて、東京では部屋を借りて生活しました」と語った。2011年5月、彼女はあの大震災直後にも来日し、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンに出演した。海外音楽家はみな日本を称賛するが、ここまで本気な例は滅多にない。演奏との関係はさておき、我々が親しみを感じ、応援したくなるのは確かだ。

今回は“無伴奏プログラム”。J.S.バッハの無伴奏組曲第1番と第5番、コダーイの無伴奏ソナタが並んでいる。チェロのバイブル＝バッハの組曲は、彼女も2008年に全曲を録音している。そのCDとナントでの本番を聴いた感触は、ナチュラルなフレージングによる流動性のある表現。音楽の躍動感やしなやかさが表に出され、組曲が本来“舞曲集”であることを再認識させる演奏だった。

コダーイの無伴奏ソナタは、ハンガリーの民族色とモダンなテイストが融合した、ハイテンションのウルトラ超絶技巧曲。同曲も2005年録音のCDがあり、11年前ながら、難技巧も鮮やかな、フレッシュで推進力に充ちた快演を聴かせている。ここでも感じさせる流動性や爽快感は、彼女の良き持ち味と言っていい。

だが、2009年にはこう語っていた。「バッハの無伴奏組曲は、一生かけて上手くなっていく作品だと思います。一番の魅力は、曲の中に沢山の違った感情が込められていること。奏者の人間性が変わると、曲のもつ意味も変わる。いわば人生を通して変わり続ける音楽だといえるでしょう」。

この後、彼女は出産を経験し、2014年秋にはロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団の首席奏者に就任した。同年のインタビューでは、「オーケストラでさらなるレパートリーを身に付けたいと考えました。最高の楽団ゆえに学ぶことも多いですし、首席奏者は年間半分の公演に出ればいいので、ソロ活動との両立もできます」と話し、筆者が「ヴァイオリンの樫本大進が、『ベルリン・フィルで様々なことを経験し、ソロ活動にフィードバックさせたい』と話していましたよ」と言うと、彼女は「私が考えているのも、まさにそれです」と答えた。

休む間もなく弾き続け、演奏家のすべてが露わになる無伴奏曲は、弦楽器奏者にとってことのほかチャレンジングだ。ましてや、長調と短調の古典的名曲に、近代の技巧的大作……スタイルの異なるこれらを一夜で弾くのは、ある意味“大勝負”といえる。「人生を通して変わり続ける音楽」と烈しい難曲は、新たな経験を経た今、どのように弾かれるのだろうか？佳き名手の“しなやかな勝負”が楽しみでならない。

公演情報 P11参照

多目的ホールの「王道」を行く充実のラインナップ
～親しみやすさと多彩さ、質を兼備～

芸術の秋を牽引する東京文化会館「Music Festival TOKYO」

文／池田卓夫（音楽ジャーナリスト）

「カッパのバッジ」を覚えておられるだろうか？毎年10月1日の「都民の日」（1952年制定）を記念し、隅田川に多くいたとされるカッパの漫画（初代が清水崑、2代目が小島功の原画だった）をデザインしたバッジが1959年から97年まで販売されていた。昭和30～40年代に「東京の子供」だった筆者も毎年これをつけ、「都民の日」にだけ無料で開放される博物館や動物園、文化施設に出かけた記憶がある。

だが首都復興の象徴として、61年に華々しくオープンした東京文化会館だけは大人の社交の場だったから子供には少々、敷居が高かった。同館が子供から大人まで一貫した芸術の殿堂に変身したのは20世紀から21世紀への変わり目、作曲家で芸術院会員だった三善晃館長の在任期間（1996～2004）である。その後任にレコード会社の社長も経験した大賀典雄館長が就き、同時に新設した音楽監督ポストにジャンルを越えて活躍する指揮者の大友直人が選ばれると、今度はジャズ、ポピュラーなどクラシック以外の音楽にも門戸が大きく開かれ、主催公演は一段と多彩になった。

敷居は低く、間口は広く、されど理想は高く、奥行きは深く……。アート＆エンターテインメントにかかわる全ての主催者、プロデューサー、出演者が絶えず意識しなければならない条件のマトリックス（四角形）を実現する場という視点に立つと、多目的ホールほど素敵な器はない。三善→大賀・大友と受け継がれてきた全世代＆多ジャンル網羅の路線は現在の日枝久館長、小林研一郎音楽監督に引き継がれ、さらなる進化を遂げ続けている。今年も東京文化会館では「都民の日」をはさんだ9月21日から11月5日までの約1ヶ月半、「Music Festival TOKYO」を主催する。これに先立つ7月17日には、向かい側の国立西洋美術館が「ル・コルビュジエの建築作品」の一つとしてユネスコの世界文化遺産に登録された。東京文化会館を手がけた前川國男はコルビュジエの弟子であり、師の作品との調和を念頭に設計したので、建築の価値も一段と増す中での開催といえる。

フェスティバルは大きく、コンサートとワークショップ、2つのパートで構成される。

両者横断の出演者として、今年の「顔」を担うのは小曽根真である。元はバークリー音楽院出身のジャズピアノのスターだが、近年は各地の交響楽団と共演し、モーツァルトなどの古典にも芸域を広げている。初日の9月21日に小ホールでワークショップ「自分で見つける音楽 Vol.4」の講師を務めるのを皮切りに、「都民の日」と翌10月2日にはキューバの強烈なジャズピアニスト、ゴンサロ・ルバルカバの助太刀？を得たコンサート「“Jazz meets Classic”with 東京都交響楽団」に臨む。前半は新進気鋭の指揮者、角田鋼亮と都響の打楽器奏者2人（安藤芳広、小林巨明）を交えたバルトーク。後半はピアニスト2人だけのジャズのガチンコ勝負だが、バルトークがピアノの打楽器性をとことん究めた作曲家だった史実に照らせば、非常に一貫性のあるプログラムだ。

ルバルカバは10月6日、小ホールの連続企画「プラチ

“Jazz meets Classic” ©青柳聡

芸術の秋、音楽さんぽ 恩賜上野動物園

国立西洋美術館

江戸東京たてもの園 子宝湯

旧吉田屋酒店

コオロギの大冒険 ©Mino Inoue

ボディ・ビート ©Mino Inoue

とびだせ！おんがくたんけん隊 ©Mino Inoue

タネまき、タネまき、大きくなあれ！ © 鈴木稚蔵

ナ・シリーズ」の第３回にも出演し、破格のソロで客席を沸かせるはず。同シリーズはフェスティバルの枠内にあと２公演、組み込まれている。９月22日の第２回はフランスを本拠とするソプラノの浜田理恵。長くウィーン音大で教え、コレペティトゥールや歌曲のピアニストとしても著名な三ッ石潤司がピアノだけでなく作曲も担い、「アリスの国の不思議」を世界初演する。バリトンの晴雅彦ら共演者も豪華で、前半には浜田得意のフランス近代歌曲を配した。11月２日の第４回はもはや新進から名演奏家の域に達したロシアのチェロ奏者、タチアナ・ヴァシリエヴァの無伴奏リサイタル。J・S・バッハとコダーイの王道プログラムだ。

西洋美術館の世界遺産登録で改めて、上野公園全体の価値がクローズアップされる中、主催は東京文化会館だが、会場は園内ほぼ全ての文化施設、さらには小金井市の江戸東京たてもの園へとコンサートを「出前」する企画「芸術の秋、音楽さんぽ」も楽しそう。テーマは「まちなかで気軽に楽しむクラシック」。９月24日から11月５日までの間に10カ所で延べ32公演、東京音楽コンクール入賞者を中心とする若手演奏家が思い思いの編成を組み、入場無料のコンサートを繰り広げる（施設入場料が必要な場合あり）。

子供向けの企画も大人向けと分け隔てなく、コンサートとワークショップの二段構えで用意した。10月22日土曜の昼には小ホールで「まちなかコンサート」の記念すべき初回が「３歳からの楽しいクラシック」の題名、ピアノの白石光隆とチェロの奥田なな子の出演で開かれる。対象は３～６歳の未就学児と保護者、その家族。大人だけの入場は「ご遠慮ください」とのことなので文字どおり、子供のパラダイスが出現する。

そして、子供向けのワークショップ。フェスティバル全体を通じ、この「ミュージック・ワークショップ・フェスタ」が最も年季を積み、国際的なネットワークを持つ名物企画であることは、まだ余り知られていない。2001年、ポルトガル政府はポルト市が欧州連合（EU）の文化首都に選ばれたのを記念し、国内初のワークショップ型音楽教育創造施設「カーザ・ダ・ムジカ（音楽の家）」を同市内に開いた。子供向けながら、クラシック音楽から民俗音楽のファド、ジャズ、電子音楽、実験プロジェクトまで網羅した画期的な施設である。東京文化会館は13年にカーザ・ダ・ムジカと提携、ワークショップは今年で４年目を迎えた。10月６日から10日までの５日間で17種類のワークショップを計30回開き、最終日は小ホールでコンサートを行う。会場には東京芸術劇場、文京シビックセンターも含まれる。

面白いのは、参加する子供の年齢区分である。「６～18ヶ月」「19～35ヶ月」「３～４歳」「５～６歳（未就学児）」「小学生以上」の５段階。小学生以上が実は「クセもの」で、はるか昔に子供だった高齢者も参加できるようになっている。半世紀ほど前に「カッパのバッジ」をつけていた子供たちもまた、音楽体験の原点に還ってくるのだ。

3歳からの楽しいクラシック

リズミカル・キッチン ©Mino Inoue

咲かせよう！音楽の花 ©Mino Inoue

ライオン・ビート ©Mino Inoue

ムジカ・ピッコラ ©Mino Inoue

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念 オペラ「眠れる美女 ～House of the Sleeping Beauties～」【日本初演】

大ホール

川端康成『眠れる美女』を原作とする現代オペラ 待望の日本初演！

12月10日(土) 15:00・11日(日) 15:00

原 作 川端康成
作 曲 クリス・デフォート
台 本 ギー・カシアス／クリス・デフォート／マリアンヌ・フォン・ケルホーフェン
ドラマトゥルク マリアンヌ・フォン・ケルホーフェン
指 揮 パトリック・ダヴァン
演 出 ギー・カシアス
振 付 シディ・ラルビ・シェルカウイ
出 演 老人（バリトン）：オマール・エイブライム
女（ソプラノ）：カトリン・バルツ
老人（俳優）：長塚京三
館の女主人（俳優）：原田美枝子
眠れる美女（ダンサー）：伊藤郁女（かおる）
眠れる美女たち（コーラス）：原 千裕、林 よう子、吉村 恵、塩崎めぐみ
管弦楽：東京藝大シンフォニエッタ
スタッフ 美術：エンリコ・バニョーリ／アリエン・クレルコ
照明：エンリコ・バニョーリ
衣裳：ティム・ファン・シュテーンベルゲン
舞台監督：菅原多敢弘

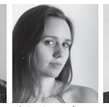
クリス・デフォート ©Kurt Van der Elst

ギー・カシアス ©Kurt Van der Elst

パトリック・ダヴァン ©Julien Pohl

シディ・ラルビ・シェルカウイ ©Kurt Van der Elst

オマール・エイブライム ©Kurt Van der Elst


カトリン・バルツ ©Claudia Hansen

長塚京三

原田美枝子 © 平岩享

伊藤郁女 ©Kurt Van der Elst

料 金 S席13,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席5,000円 D席3,000円 ※各種割引あり

関連企画1 伊藤郁女ダンスワークショップ ～自分を踊る～

スタジオ・アーキタンツ　東京文化会館

9月7日(水)～9日(金)・12日(月)～14日(水) ※応募は締め切りました

関連企画2 映画「眠れる美女」上映会

東京都写真美術館 ホール

11月4日(金) 18:30

講 師 福田淳子（昭和女子大学准教授） **上映映画**「眠れる美女」（吉村公三郎監督 新藤兼人脚本 1968年 松竹映画 35ミリフィルム） P22 参照
料 金 参加料500円（9月10日（土）発売）

関連企画3 日本・ベルギー交流150年の歴史（歴史講演）

東京文化会館 大会議室

11月12日(土) 18:00

講 師 黒沢文貴（東京女子大学教授） **料 金** 入場無料（事前応募制／10月26日（水）締切）※詳細はチラシやウェブサイトをご覧ください。

舞台芸術創造事業 ストラヴィンスキー「兵士の物語」

小ホール

リサイタルや室内楽として使われる小ホールの空間を活かした実験的、前衛的な舞台芸術作品を創造・発信します。

平成29年3月18日(土) 15:00

音 楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー
演 出 黒木岩寿
出 演 語り手：安東伸元（狂言方能楽師）
兵士の声：井上放雲（狂言方能楽師）
兵士：KAMIYAMA（パントマイム）
悪魔：ウヴェ・ワルター（パフォーマー）
演 奏 ヴァイオリン：荒井英治
コントラバス：黒木岩寿
クラリネット：生方正好
ファゴット：吉田 將
トランペット：長谷川智之
トロンボーン：倉田 寛
パーカッション：高野和彦
スタッフ 照明：足立 恒

安東伸元

井上放雲

KAMIYAMA

ウヴェ・ワルター

荒井英治

黒木岩寿

生方正好

吉田 將 © 読売日本交響楽団

長谷川智之

倉田 寛

高野和彦

料 金 S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円 ※各種割引あり（9月17日（土）発売［友の会会員先行発売9月10日（土）］）

小曽根 真＆ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団 MPT

ジャズとクラシックを縦横に駆け巡る小曽根真と、キューバ出身のジャズ・ピアニスト、ゴンサロ・ルバルカバが共演！

10月1日(土) 17:00 東京文化会館 大ホール　10月2日(日) 15:00 オリンパスホール八王子

出 演　ピアノ：小曽根 真
ピアノ：ゴンサロ・ルバルカバ
打楽器：安藤芳広*、小林巨明*（東京都交響楽団）
指揮：角田鋼亮*
管弦楽：東京都交響楽団*　*第1部のみ

曲 目　第1部　バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
バルトーク：2台のピアノと打楽器のための協奏曲
第2部　ジャズ・セッション　小曽根 真×ゴンサロ・ルバルカバ

小曽根 真 ©Yow Kobayashi　ゴンサロ・ルバルカバ ©Yasuhisa Yoneda　安藤芳広 © 堀田力丸　小林巨明 © 堀田力丸　角田鋼亮 © 武藤 章

料 金　S席5,000円　A席4,000円　B席3,000円　25歳以下1,000円

小曽根 真ワークショップ「自分で見つける音楽 Vol.4」 MPT　小ホール

9月21日(水) 19:00

出 演　小曽根 真

料 金　参加料1,500円　25歳以下1,000円

《響の森》vol.39 「ニューイヤーコンサート2017」　大ホール

2017年の「聴き初め」は東京文化会館で！ 東京都交響楽団と多数共演する小山実稚恵によるラフマニノフを中心にお楽しみください。

平成29年1月3日(火) 15:00

出 演　指揮：垣内悠希
ピアノ：小山実稚恵
管弦楽：東京都交響楽団

曲 目　チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より“だったん人の踊り”
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ニ短調 op.30

垣内悠希 ©Jean Philippe Raibaud　小山実稚恵 ©ND CHOW

料 金　S席6,200円　A席4,100円　B席2,100円 ※各種割引あり
（9月2日(金)発売［東京文化会館友の会会員・都響会員先行発売8月26日(金)］）

第14回東京音楽コンクール 優勝者＆最高位入賞者コンサート

第14回東京音楽コンクールを制した各部門の優勝者＆最高位入賞者が、ソリストとしてオーケストラと共演。東京文化会館から羽ばたく新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください。

平成29年1月9日(月・祝) 15:00

出 演　指揮：園田隆一郎
管弦楽：読売日本交響楽団
司会：朝岡 聡

園田隆一郎　朝岡 聡

料 金　指定2,000円 ※各種割引あり

創遊・楽落らいぶ —音楽家と落語家のコラボレーション—　小ホール

500円で音楽と落語を楽しめるお得な1時間コンサート。落語と音楽のコラボレーションをお楽しみください。

vol.35 10月27日(木) 11:00～12:00

出 演　落語：二代 三笑亭夢丸（落語）
作曲・編曲・クラリネット：うちだえーすけ
ヴァイオリン：せんこうひでき
ピアノ：なんばますみ

内 容　第1部：ミニコンサート
第2部：落語と音楽のコラボレーション「目黒のさんま」

二代 三笑亭夢丸

料 金　自由500円

バックステージツアー　大ホール

普段目にすることのできない舞台裏やサインの見学など、見どころいっぱいのツアーです。

11月21日(月) 14:30／19:00
平成29年1月26日(木) 14:30／19:00

料 金　参加料500円
（11月分：9月22日(木・祝) 発売、1月分：11月3日(木・祝) 発売）

チケットはこちらから

TS　東京文化会館チケットサービス／03-5685-0650　http://www.t-bunka.jp/ticket/
都響　都響ガイド／03-3822-0727　http://www.tmso.or.jp/
チケットぴあ／0570-02-9999　http://t.pia.jp/
e+　イープラス／ http://eplus.jp/t-bunka/
ローソンチケット　ローソンチケット／0570-000-407　http://l-tike.com/

※公演により取扱のないプレイガイドもございます。
※都合により内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
（一部のコンサート／ワークショップを除く）
※料金は税込みです。

■お問合せ
東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表)
www.t-bunka.jp　Twitter@tbunka_official

プラチナ・シリーズ MPT　小ホール

「奇跡の音響」と称される小ホールで、一流アーティストによる珠玉のコンサートで贅沢なひとときを。

第2回 浜田理恵
～言葉は歌い、音楽は語る～

9月22日(木・祝) 16:00

出 演　ソプラノ：浜田理恵
ピアノ・作曲：三ツ石潤司
バリトン：晴 雅彦*
クラリネット・バスクラリネット：中村真美*
チェロ：山本直輝*
*第2部のみ

曲 目　〈第1部〉
サティ：3つの歌（ブロンズのかえる、ダフェネオ、帽子屋）
サティ：潜水人形（ねずみの歌、憂鬱、アメリカのヒキカエル、詩人の歌、ねこのシャンソン）
プーランク：当たりくじ（眠り、なんてこと、ハートの女王、ババビボビュ…、音楽家の天使たち、小さいカラフ、四月の月）
〈第2部〉
三ツ石潤司：音楽遊戯「アリスの国の不思議」【新作初演】～ルイス・キャロル作「不思議の国のアリス」より～
アリス：浜田理恵　その他全部：晴 雅彦

浜田理恵　三ツ石潤司　晴 雅彦　中村真美　山本直輝

料 金　S席5,000円　A席4,000円　B席2,500円
（第2～4回：販売中、第5回：11月3日(木・祝) 発売）

第3回 ゴンサロ・ルバルカバ
～キューバが誇る世界的ジャズ・ピアニスト～

10月6日(木) 19:00

出 演　ピアノ：ゴンサロ・ルバルカバ
曲 目　当日発表

ゴンサロ・ルバルカバ ©Mario Garcia Joya

第4回 タチアナ・ヴァシリエヴァ
～無伴奏チェロの若き至宝～

11月2日(水) 19:00

出 演　チェロ：タチアナ・ヴァシリエヴァ
曲 目　J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007
J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第5番 ハ短調 BWV1011
コダーイ：無伴奏チェロ・ソナタ op.8

タチアナ・ヴァシリエヴァ ©Sasha Gusov

第5回 渡辺貞夫
～ジャズ界のスーパー・レジェンド～

平成29年2月17日(金) 19:00

出 演　サクソフォン：渡辺貞夫 他
曲 目　当日発表

渡辺貞夫 ©Masaya Takagi

モーニングコンサート　小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクールの入賞者による朝の1時間のコンサート。19時より開催する番外編にもご注目ください。

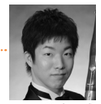
vol.98 9月27日(火) 11:00～12:00

出 演　ピアノ：本山乃弘 *第12回ピアノ部門第3位
曲 目　モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番 イ長調「トルコ行進曲付き」
ショパン：アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 他

本山乃弘

vol.99 10月19日(水) 11:00～12:00

出 演　ファゴット：鈴木一成 *第13回木管部門第1位
ピアノ：松山玲奈
曲 目　サン＝サーンス：『動物の謝肉祭』より“白鳥”
ウェーバー：アンダンテとハンガリー風ロンド 他


鈴木一成

番外編「秋の夜コンサート」

11月11日(金) 19:00～20:00

出 演　フルート：押部朋子 *第7回木管部門第2位
オーボエ：居石和代
ハープ：景山梨乃

曲 目　クヴァンツ：トリオ・ソナタ ハ短調
クライスラー（ラフマニノフ編曲）：愛の喜び 他

押部朋子

vol.100 12月16日(金) 11:00～12:00

出 演　ヴァイオリン：周防亮介
*第9回弦楽部門第1位及び聴衆賞
ピアノ：三又瑛子

曲 目　パガニーニ：ロッシーニの歌劇『タンクレディ』のアリア「こんなに胸騒ぎが」による序奏と変奏曲 op.13
パガニーニ：ロッシーニの歌劇『エジプトのモーゼ』の「汝の星をちりばめた王座に」の主題による変奏曲 他

周防亮介

vol.101 平成29年1月13日(金) 11:00～12:00

出 演　ピアノ：小林海都 *第11回ピアノ部門第2位
曲 目　モーツァルト：ピアノ・ソナタ第8番 イ短調
シューベルト：ピアノ・ソナタ第4番 イ短調 他

小林海都

vol.102 平成29年2月14日(火) 11:00～12:00

出 演　バリトン：清水勇磨 *第13回声楽部門第1位
ピアノ：藤川志保

曲 目　レオンカヴァッロ：歌劇「道化師」より“失礼いたします。紳士、淑女の皆さん方”
ヴェルディ：歌曲「6つのロマンス」より 6.乾杯 他

清水勇磨

vol.103 平成29年3月8日(水) 11:00～12:00

出 演　コントラバス：白井菜々子 *第13回弦楽部門第3位
ピアノ：山崎早登美

曲 目　エルガー：愛の挨拶
モンティ：チャルダッシュ 他

白井菜々子

料 金　自由500円（Vol.98：予定枚数終了）

まちなかコンサート MPT

東京音楽コンクール入賞者等が出演し、都内文化施設や小ホールでコンサートを開催します。

Vol.1 3歳からの楽しいクラシック　小ホール

10月22日(土) 14:00～15:00

白石光隆 ©岩切 等

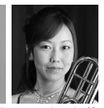
奥田なな子 ©hiroshi SUGAWARA

出 演　ピアノ：白石光隆
チェロ：奥田なな子
曲 目　ドビュッシー：ゴリウォークの ケークウォーク
サン＝サーンス：『動物の謝肉祭』より“白鳥”
ショパン：序奏と華麗なるポロネーズ 他
対 象　未就学児(3～6歳)と保護者およびその家族
※大人だけの入場および3歳未満のお子さまの入場は不可

Vol.2 よりみちコンサート　小ホール

12月22日(木) 19:00～20:00

多田将太郎


上田智美

出 演　トランペット：多田将太郎
＊第8回金管部門第1位及び聴衆賞
トランペット：川村 大、岡村 牧♪
ホルン：杉崎 瞳♪
トロンボーン：上田智美 ＊第3回金管部門第2位(最高位)
トロンボーン：井上 亮♪、小篠亮介　テューバ：石丸菜菜♪
パーカッション：矢野顕太郎 ♪芸劇ウィンド・オーケストラ・アカデミー メンバー
曲 目　ガーシュウィン・イン・ブラス
カンプラー：「華麗なるヨーロッパ」より
クリスマスメドレー 他

Vol.3 ムジカ・アモーレ(仮題)　小ホール

平成29年2月11日(土・祝) 14:00開演

宮本文昭 ©有田周平

瀧村依里

小川響子

渡邉千春

加藤文枝

梶川真歩

吉村結実

コハーン・イシュトヴァーン

鈴木一成

氏家 亮

居福健太郎

出 演　ナビゲーター：宮本文昭
ヴァイオリン：瀧村依里 ＊第3回弦楽部門第1位
ヴァイオリン：小川響子 ＊第10回弦楽部門第1位及び聴衆賞
ヴィオラ：渡邉千春 ＊第2回弦楽部門第3位
チェロ：加藤文枝 ＊第7･8回弦楽部門第2位
フルート：梶川真歩 ＊第11回木管部門第3位
オーボエ：吉村結実 ＊第9回木管部門第3位
クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン ＊第11回木管部門第1位及び聴衆賞
ファゴット：鈴木一成 ＊第13回木管部門第1位
ホルン：氏家 亮 ＊第10回金管部門第3位及び聴衆賞
ピアノ：居福健太郎 ＊第5回ピアノ部門第3位

芸術の秋、音楽さんぽ

9月24日(土)･25日(日)	江戸東京たてもの園 子宝湯	10月22日(土)	恩賜上野動物園【雨天中止】
9月29日(木)	国立西洋美術館	10月29日(土)	東京国立博物館
10月8日(土)･9日(日)	東京文化会館 キャノピー【雨天中止】	10月30日(日)	旧吉田屋酒店【雨天中止】
10月15日(土)･16日(日)	東京都美術館	11月5日(土)	国立科学博物館
10月16日(日)	国立国会図書館 国際子ども図書館	※各公演20～40分です。	
10月22日(土)･23日(日)	旧岩崎邸庭園		

料 金　Vol.1･2：自由500円(販売中)、Vol.3：自由1,000円(9月27日(火)発売)、芸術の秋、音楽さんぽ：入場無料(施設への入館料･入園料が別途必要な場合があります)

Workshop Workshop! ～国際連携企画～ MPT

～0歳から大人まで～見つけよう、音楽で広がる新しい世界　ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」等と連携し、様々なワークショップを開催します。

東京文化会館ミュージック・ワークショップ　リハーサル室

11月20日(日)
「めざせ！おんがく忍者！」 10:30(3～4歳)／12:00(5～6歳)
「Music Clock」 14:30(小学生～大人)

12月4日(日) 調整中

平成29年2月26日(日)
「旅するヨーロッパ」 10:30(6～18ヶ月)／12:00(19～35ヶ月)
「カラダ･オト･ウタウ」 14:30(小学生～大人)

ミュージック・ワークショップ・フェスタ　東京文化会館　東京芸術劇場　文京シビックセンター

10月6日(木)～10日(月･祝)

10月6日(木)
「旅するヨーロッパ」 10:00(19～35ヶ月)／11:30(6～18ヶ月) 芸劇
「とびだせ！おんがくたんけん隊」 10:30(6～18ヶ月)／12:00(19～35ヶ月) 芸劇
「リズミカル･キッチン」 15:00(一般〈未就学児不可〉) 芸劇
「はじめましてクラシック～木管五重奏～」 10:30(6～18ヶ月)／12:00(19～35ヶ月) 文京

10月7日(金)
「咲かせよう！音楽の花」 10:00(19～35ヶ月)／11:30(6～18ヶ月) 芸劇
「ライオン･ビート」 10:30(6～18ヶ月)／12:00(19～35ヶ月) 芸劇
「One Day セッション」 10:30～12:00(一般〈未就学児不可〉) 文京

10月8日(土)
「はじめましてクラシック～弦楽四重奏～」 10:30(6～18ヶ月)／12:00(19～35ヶ月) 文化
「ムジカ･ピッコラ」 11:00(3～4歳)／13:30(5～6歳) 文化
「One Day コーラス」 14:00～15:30(小学生～大人) 文化
「コオロギの大冒険」 10:00(6～18ヶ月)／11:30(19～35ヶ月)／14:00(3～4歳) 文京

10月9日(日)
「ボディ･ビート」 10:30(一般〈未就学児不可〉) 文化
「なぜなぜルーレット」 11:00(3～4歳)／12:30(5～6歳) 文化
新制作ワークショップ 10:00(3～4歳)／11:30(5～6歳) 文京
「タネまき、タネまき、大きくなあれ！」 10:30(19～35ヶ月)／12:00(3～4歳) 文京

10月10日(月･祝)
「めざせ！おんがく忍者！」 10:30(3～4歳)／12:00(5～6歳) 文化
「ワークショップ･コンサート」 15:00(一般〈6ヶ月以上入場可〉) 文化

料 金　参加料500円(11月･2月ワークショップ：9月22日(木･祝)発売)

COLUMN プロセニアムのスター達 vol.05

ウィーン国立歌劇場の魅力

文／野村三郎(音楽評論家)

今秋、ウィーン国立歌劇場が日本公演で上演するR･シュトラウスの《ナクソス島のアリアドネ》(指揮マレク･ヤノフスキ)とワーグナーの《ワルキューレ》(指揮アダム･フィッシャー)は共に奇をてらわない演出をするスヴェン＝エリック･ベヒトルフだから、多くの方に興味を抱いて頂けるのではないだろうか。

ウィーン国立歌劇場は、ハプスブルグ王朝の宮廷劇場を引き継ぎ、1869年に建てられた。ハプスブルグ家は640年の歴史の中で、歴代の皇帝一家が芸術に深い関心を持ち、自ら作曲したり、演奏したりしてきた。第一次世界大戦で王政が倒れ、共和国になっても世界最高のオペラ劇場はそのまま維持され、今に至っている。ウィーン･フィルはこの歌劇場の管弦楽団が母体となっているのだ。

ウィーン国立歌劇場「ナクソス島のアリアドネ」1980年10月8日(リハーサル) 東京文化会館　写真／木之下 晃

《アリアドネ》は、貴族の館で悲劇とコミカルなオペラをやる筈だったのを、同時に上演するようにとの命令で出演者は戸惑うという筋だが、ホフマンスタールの台本は巧妙にこの可笑しなテーマをクリアし、それをR･シュトラウスも、また見事なオペラに仕立てている。

気品に満ちたアリアドネ役は堂々たるソプラノ、グン＝ブリッド･バークミンが、又コミカルな主役はオペラブッファでひときわ目立つコロラトゥーラ･ソプラノのダニエラ･ファリーを配しており、自由自在な高音を操る彼女は我が国のオペラファンを満足させるに違いない。ナクソス島に置き去りにされたアリアドネの救い主、バッカスは声量、透明度の高いテノールのヨハン･ボータだから、これら3人の歌手がエレガントで、ユーモアたっぷりのこのオペラの骨格をしっかりと支えるであろう。

ズボン役の作曲家には今や世界最高のメゾソプラノと言われるヴェッセリーナ･カサロヴァが当たる。これも聴きどころである。つまり万全の態勢で、ウィーン国立歌劇場は最高の配役を日本にプレゼントしているのだ。

大作曲家R･シュトラウスと共にウィーン国立歌劇場を飾るワーグナーの《ワルキューレ》は、彼の《ニーベルンクの指環》の中で最も人気を勝ち得ている作品だが、今回の《ワルキューレ》は目下聴衆を最も納得させる演出と言える。

嬉しいのはヴォータンをトマス･コニエチュニーが歌う事である。彼は本来演劇畑の出身で、内面的表出に優れ、声の威力はヴォータンに相応しく、現在、最も適役と言えよう。彼のヴォータンの解釈は「ならず者」だというので非常に共鳴した事がある。妻のフリッカ役はそれに相応しい独特な生々しさを演ずるミヒャエラ･シュースターで、いいコンビである。一方、父ヴォータンの命に背き、劫火の中に置き去りにされるブリュンヒルデは、かつてワーグナー歌手として盛名をはせたビルギット･ニルソンの後継者の可能性を持つニーナ･シュテンメだから、彼女とヴォータンの幕切れの切々たる重唱は、深い感銘を与えるであろう。

忘れてならないのは上り坂にあるフンディング役のアイン･アンガーの迫力とジークムント役のクリストファー･ヴェントリスの二人であろう。ここまで役者が揃うと、ワーグナーを聴いたという満足感を得られることは間違いない。同時に《ワルキューレ》の有名なメロディはコマーシャルや映画にも使われ、聴き慣れた旋律だから、聴衆はすぐ作品に溶け込むであろう。

そして、オペラのオーケストラが、実質世界最高のウィーン･フィルハーモニーであることだ。それは世界中どこにも求められない贅沢なオペラ管弦楽団であるという事である。このようにどの観点から見てもこの公演は最高の愉悦の極みなのである。

ウィーン国立歌劇場は日本の聴衆の質の高さは十分承知していて、一切の手抜きはしないのだ。日本公演について出る出演者の感想は、聴衆の集中力と事前の曲目に対する研究、出演者に対する敬意である。

大ホール

1 土 17:00

Music Program TOKYO／Music Festival TOKYO　主催公演 P10 参照

小曽根 真＆ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

出　演　小曽根 真(Pf) ゴンサロ・ルバルカバ(Pf)
安藤芳広(打楽器)* 小林巨明(打楽器)*
角田鋼亮(指揮)*　東京都交響楽団(管弦楽)*
曲　目【第1部】
バルトーク：ルーマニア民俗舞曲*
2台のピアノと打楽器のための協奏曲*
【第2部】
ジャズ・セッション
小曽根 真×ゴンサロ・ルバルカバ
料　金　S5,000　A4,000　B3,000　25歳以下1,000
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

小曽根 真
©Yow Kobayashi

G.ルバルカバ
©Yasuhisa Yoneda

2 日 14:00

関 孝弘 ピアノリサイタル

出　演　関 孝弘(Pf)
曲　目　ガルッピ：ピアノソナタ「ヴェニスへの虹」
スカルラッティ：ピアノソナタ　他
料　金　指定5,500
問合せ　Ro-Onチケット 047-365-9960

5 水 18:30

カザフスタン共和国 アスタナバレエ団 初来日公演

演　目『GAIA』『ALEM』
料　金　無料(要事前申込、受付期間終了)
問合せ　アスタナバレエ公演事務局
0120-138057

10 月・祝 14:00 / 12 水 18:00

マリインスキー・オペラ『ドン・カルロ』

演　目　ヴェルディ：歌劇『ドン・カルロ』5幕版
イタリア語上演／日本語字幕付
指　揮　ワレリー・ゲルギエフ
原　作　シラー
演　出　ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ
出　演　フィリッポ2世：フェルッチョ・フルラネット
ドン・カルロ：ヨンフン・リー
ロドリーゴ：アレクセイ・マルコフ
宗教裁判長：ミハイル・ペトレンコ
エリザベッタ：ヴィクトリア・ヤストレボヴァ
エボリ公女：ユリア・マトーチュキナ
演　奏　マリインスキー歌劇場管弦楽団・合唱団
料　金　【10日】S45,300　A38,800　B29,100　C21,600　D12,900
【12日】S43,200　A36,700　B27,000　C19,400　D10,800
問合せ　ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

©N.Razina

11 火 19:00

都民劇場音楽サークル第641回定期公演

マリインスキー歌劇場 特別演奏会

指　揮　ワレリー・ゲルギエフ
曲　目　チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」
歌劇『スペードの女王』より
“あなたを愛しています”
【バリトン】アレクセイ・マルコフ
歌劇『エフゲニー・オネーギン』より
第3幕 最後の場面
【バリトン】アレクセイ・マルコフ
【ソプラノ】エカテリーナ・ゴンチャロワ
ボロディン：歌劇『イーゴリ公』より
コンチャーク汗のアリア～ダッタン人の踊り
【バス】ミハイル・ペトレンコ
プロコフィエフ：十月革命20周年のためのカンタータ
演　奏　マリインスキー歌劇場管弦楽団・合唱団
料　金　S23,000　A19,000　B15,000　C12,000
問合せ　都民劇場 03-3572-4311

ワレリー・ゲルギエフ

アレクセイ・マルコフ

エカテリーナ・ゴンチャロワ

ミハイル・ペトレンコ

15 土 12:00 / 16 日 14:00

マリインスキー・オペラ『エフゲニー・オネーギン』

演　目　チャイコフスキー：歌劇『エフゲニー・オネーギン』
叙情的情景／全3幕 ロシア語上演／日本語字幕付
指　揮　ワレリー・ゲルギエフ
原　作　プーシキン
演　出　アレクセイ・ステパニュク
出　演

	(15日)	(16日)
オネーギン	：アレクセイ・マルコフ	ロマン・ブルデンコ
タチヤーナ	：マリア・バヤンキナ	エカテリーナ・ゴンチャロワ
レンスキー	：エフゲニー・アフメドフ	ディミトリー・コルチャック
オルガ	：エカテリーナ・セルゲイエワ	ユリア・マトーチュキナ
グレーミン侯爵	：エドワルド・ツァンガ	ミハイル・ペトレンコ

演　奏　マリインスキー歌劇場管弦楽団・合唱団
料　金　S43,200　A36,700　B27,000　C19,400　D10,800
問合せ　ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

©N.Razina

15 土 19:00

ワレリー・ゲルギエフ指揮 マリインスキー歌劇場管弦楽団 特別演奏会

指　揮　ワレリー・ゲルギエフ
曲　目　チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ピアノ協奏曲第1番
交響曲第5番
出　演　アレクサンダー・マロフェーエフ(Pf)
管弦楽　マリインスキー歌劇場管弦楽団
料　金　S21,600　A18,300　B14,000　C10,800　D7,500
問合せ　ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

ワレリー・ゲルギエフ
©AlexanderShapunov

アレクサンダー・マロフェーエフ
©Alexander Gaiduk

17 月 18:30

日本フルート協会 創立50周年記念コンサート

指　揮　関谷弘志　青木 明
出　演　ゲスト：マクサンス・ラリュー(Fl) 工藤重典(Fl)
50周年記念フルートオーケストラ
アンサンブル・リュネット、フルート・デュオ櫻舞 -aube-、
マグナムトリオ
渡辺かや(Hp)　他
秋沢淳子(司会)
曲　目　林 光：祝奏
モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』序曲
ケシック：アヴェ・マリア
ヴィオッティ：2本のフルートのための協奏曲
新垣 隆：委嘱作品
エルガー：「威風堂々」第1番　他
料　金　自由4,000
問合せ　日本フルート協会 03-3442-7420

マクサンス・ラリュー

工藤重典

25 火 19:00 / 28 金 15:00 / 30 日 15:00

ウィーン国立歌劇場 2016年日本公演 『ナクソス島のアリアドネ』

演　目　R.シュトラウス：歌劇『ナクソス島のアリアドネ』
プロローグ付1幕
指　揮　マレク・ヤノフスキ
演　出　スヴェン=エリック・ベヒトルフ
出　演　プリマドンナ／アリアドネ：グン=ブリット・バークミン
ツェルビネッタ　：ダニエラ・ファリー
作曲家　：ヴェッセリーナ・カサロヴァ
テノール／バッカス　：ヨハン・ボータ
管弦楽　ウィーン国立歌劇場管弦楽団
料　金　S63,000　A58,000　B53,000　C48,000
D32,000　E25,000　F17,000
問合せ　NBSチケットセンター 03-3791-8888

マレク・ヤノフスキ
©Felix Broede

休館日：3日(月)

小ホール

1 土 14:00

ギレリス生誕100周年記念演奏会

出　演　須関裕子(Pf) 崔 仁洙(Pf)
曲　目　ショスタコーヴィチ：24の前奏曲とフーガより　他
料　金　自由4,000　学生2,500
問合せ　パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831

2 日 14:00

イリヤ・イーティン ピアノリサイタル

曲　目　ドビュッシー：2つのアラベスク 他　料　金 自由5,000 学生2,500
問合せ　ア・コルト音楽プロデュース 070-1266-0037

5 水 19:00

志村 泉 ピアノリサイタル

出　演　志村 泉(Pf) ゲスト：三橋貴風(尺八)
曲　目　寺嶋陸也：尺八とピアノのためのラプソディー　他
料　金　指定4,500　問合せ　インターミューズ・トーキョウ 03-3475-6870

6 木 19:00

Music Program TOKYO／Music Festival TOKYO　主催公演 P5,11参照

プラチナ・シリーズ第3回 ゴンサロ・ルバルカバ(Pf)

料　金　S5,000　A4,000　B2,500
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

7 金 19:00

東京混声合唱団 第240回定期演奏会

出　演　田中信昭(指揮) 中嶋 香(Pf)　曲　目　平川加恵：音の歳時記　他
料　金　自由4,500 学生2,500　問合せ　合唱音楽振興会 03-3200-9755

Music Program TOKYO／Music Festival TOKYO

ミュージック・ワークショップ・フェスタ

8 土

はじめましてクラシック～弦楽四重奏～　主催公演 P12 参照
10：30(対象：6-18ヶ月)／12：00(対象：19-35ヶ月)

One Day コーラス
14：00(対象：一般 未就学児入場不可)

9 日

ボディ・ビート
10：30(対象：一般 未就学児入場不可)

10 月・祝

ワークショップ・コンサート
15：00(対象：一般 未就学児入場可)

料　金　500円　問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

11 火 19:00

熊本マリ デビュー30周年記念 ピアノリサイタル

曲　目　グラナドス：スペイン舞曲集より“アンダルーサ”他
料　金　指定4,000　問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

12 水 18:45

日本モーツァルト協会 第582回例会

出　演　神田寛明(Fl) 粟田口節子(Cem)
曲　目　モーツァルト：ロンドンソナタ K10～15(全6曲)　他
料　金　自由5,000 学生2,000　問合せ　日本モーツァルト協会 03-5467-0626

13 木 19:00

第1回 中島裕康 箏リサイタル －挑－

曲　目　沢井忠夫：讃歌　他　料　金 自由3,000 学生2,000
問合せ　Ro-Onチケット 047-365-9960

14 金 19:00

花房晴美 室内楽シリーズ パリ・音楽のアトリエ〈第12集Ⅲ〉

出　演　花房晴美(Pf) 荒川文吉(Ob) 中田小弥香(Fg)
原田 節(オンド・マルトノ) 加藤恭子(Pc)
曲　目　プーランク：オーボエ、ファゴット、ピアノのための三重奏曲　他
料　金　自由5,000 学生3,000　問合せ　コンサート・プランニング 03-5411-1090

15 土 14:00

佐藤卓史 シューベルトツィクルス 第6回ピアノ・ソナタⅡ

曲　目　シューベルト：ピアノソナタ第5番　他
料　金　自由4,000 学生2,000　問合せ　アスペン 03-5467-0081

16 日 14:00

豊田弓乃 ヴァイオリンリサイタル

出　演　豊田弓乃(Vn) 海老彰子(Pf)
曲　目　グリーグ：ヴァイオリンソナタ第3番　他
料　金　自由4,000 学生2,000　問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

17 月 18:30

日本ロッシーニ協会 設立20周年記念ガラコンサート

出　演　天羽明惠(S) 佐藤美枝子(S) 高橋薫子(S) 金井紀子(Pf)　他
曲　目　ロッシーニ：歌劇『セビリアの理髪師』より　他
料　金　指定5,000 学生3,500　問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

18 火 19:00

和波孝禧と仲間たち～ピアノトリオの夕べ～

出　演　和波孝禧(Vn) 岩崎 洸(Vc) 土屋美寧子(Pf)
曲　目　ブラームス：ピアノトリオ第3番　他
料　金　A5,000 B4,500　問合せ　AMATI 03-3560-3010

19 水 11:00

東京文化会館モーニングコンサート Vol.99　主催公演 P11 参照

出　演　鈴木一成(Fg) 松山玲奈(Pf)
曲　目　ウェーバー：アンダンテとハンガリー風ロンド　他
料　金　自由500　問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

19 水 19:00

小林美恵 ヴァイオリンリサイタル 第5回「音の響宴」

出　演　小林美恵(Vn) 林 美智子(Ms) ヘルムート・ブラニー(指揮)
ドレスデン国立歌劇場室内管弦楽団
曲　目　J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番、第2番　他
料　金　指定6,000 学生3,000　問合せ ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

20 木 19:00

比石妃佐子 ピアノリサイタル

曲　目　グラナドス：組曲《ゴィェスカス》他
料　金　指定5,000　問合せ　新演 03-3561-5012

21 金 19:00

東京ハルモニア室内オーケストラ 第53回定期演奏会

出　演　ソリスト：小林秀子(Va)　他
曲　目　ブラームス：弦楽六重奏曲 第1番(弦楽合奏版)　他
料　金　指定4,000
問合せ　東京ハルモニア室内オーケストラ事務局 090-1260-2934

22 土 14:00 / 19:00

Music Program TOKYO まちなかコンサート Vol.1　主催公演 P12 参照
「3歳からの楽しいクラシック」
出　演　白石光隆(Pf) 奥田なな子(Vc)
料　金　自由500　問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

アカンサスⅡ コンサート
出　演　ジェラール・プーレ(Vn) 大川内 弘(Vn)　他
曲　目　ヴィヴァルディ：四季　他　料　金 自由4,000
問合せ　弦楽合奏団 アカンサスⅡ(東條) 045-560-6115

23 日 14:00 / 19:00

佐竹由美 ソプラノリサイタル 英米歌曲シリーズ Vol.5

出　演　佐竹由美(S) 江口 玲(Pf)
曲　目　コルンゴルト：4つのシェイクスピアの歌　他
料　金　自由4,000　問合せ　二期会チケットセンター 03-3796-1831

スライドサミット 2016
出　演　ハイブリッド・トロンボーン四重奏団 トロンボーン クァルテット ジパング
料　金　自由4500 学生3500　問合せ　ドルチェ楽器 03-5909-1771

24 月 18:30

創立50周年記念「新作歌曲の夕べ2016」

出　演　本宮寛子(S) 秋山恵美子(S) 酒井あやの(Ms) 鴨川太郎(Br) 他
曲　目　千秋次郎：花水木の手紙　他
料　金　自由3,500　問合せ　波の会日本歌曲振興会 03-3355-4173

25 火 19:00

日本ショパン協会 第276回例会 岸 美奈子 ピアノリサイタル

曲　目　ショパン：24の前奏曲　他
料　金　自由4,000　問合せ　日本ショパン協会 03-3379-2803

26 水 19:00

堀江真理子 ピアノコンサート2016「矢代秋雄へのオマージュ」

出　演　堀江真理子(Pf) 藤井一興(Pf) 三上明子(Fl) 佐久間由美子(Fl) 他
曲　目　矢代秋雄：古典組曲～ピアノ連弾のための　他
料　金　自由5,000 学生3,000
問合せ　パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831

27 木 11:00 / 19:00

創遊・楽落らいぶ Vol.35　主催公演 P10 参照
－音楽家と落語家のコラボレーション－
出　演　二代 三笑亭夢丸(落語) イーラちゃん楽団(演奏)　演 目 目黒のさんま
料　金　自由500　問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ
曲　目　ベートーヴェン：七重奏曲　他
料　金　指定4,000　問合せ　ヒラサ・オフィス 03-5429-2399

28 金 19:00

安川加壽子記念会 第12回演奏会

出　演　青柳いづみこ(Pf) 三舩優子(Pf) 盛田麻央(S)　他
曲　目　シューマン：交響的練習曲　他
料　金　自由5,000 学生3,000　問合せ　新演 03-3561-5012

29 土 14:00 / 19:00

深沢亮子 ピアノリサイタル ～管楽器と共に～

出　演　深沢亮子(Pf) 金子亜未(Ob) 藤井洋子(Cl)
吉田 将(Fg) 日橋辰朗(Hr)
曲　目　モーツァルト：ピアノと管楽のための五重奏曲　他
料　金　自由5,000　問合せ　新演 03-3561-5012

伊藤曜子 ピアノリサイタル
曲　目　ドビュッシー：ベルガマスク組曲　他
料　金　自由3,000　問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

30 日 14:00

平尾はるな ピアノコスモス2016

出　演　平尾はるな(Pf) エストレリータ・ワッセルマン(語り)
曲　目　西村 朗：ピアノのための《星の鏡》他
料　金　自由5,000　問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

31 月 19:00

第30回記念 岸本 力 バスリサイタル

出　演　岸本 力(Bs) 亀山郁夫(解説) 村上弦一郎(Pf) 北村 聡(Bn)　他
曲　目　ショスタコーヴィチ：歌劇『鼻』より コワリョーフの歌　他
料　金　自由4,000 学生3,000　問合せ 二期会チケットセンター 03-3796-1831

休館日：3日(月)・4日(火)

大ホール

6(日)・9(水)・12(土) 15:00
ウィーン国立歌劇場 2016年日本公演『ワルキューレ』

演　目　ワーグナー：歌劇『ワルキューレ』全3幕
指　揮　アダム・フィッシャー
演　出　スヴェン＝エリック・ベヒトルフ
出　演　フリッカ：ミヒャエラ・シュースター
ブリュンヒルデ：ニーナ・シュテンメ
ジークリンデ：ペトラ・ラング
フンディング：アイン・アンガー
ヴォータン：トマス・コニエチュニー
ジークムント：クリストファー・ヴェントリス
管弦楽　ウィーン国立歌劇場管弦楽団
料　金　S67,000 A61,000 B54,000 C49,000 D33,000 E25,000 F17,000
問合せ　NBSチケットセンター 03-3791-8888

アダム・フィッシャー ©Michael Poehn

18(金) 14:00 18:30・19(土) 12:30 16:30・20(日) 14:00
熊川哲也 Kバレエ カンパニー 2016秋公演

演　目　レオン・ミンクス：『ラ・バヤデール』
料　金　S14,000 A10,000 B8,000 C6,000
※5歳以上入場可
問合せ　チケットスペース 03-3234-9999

21(月) 14:30 19:00
東京文化会館バックステージツアー 主催公演 P10 参照

料　金　参加料500
対　象　中学生以上
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

28(月) 19:00
東京都交響楽団 第819回定期演奏会Aシリーズ P21 参照

指　揮　大野和士
出　演　ピエール＝ロラン・エマール(Pf)
天羽明恵(S)*
曲　目　ベルク：アルテンベルク歌曲集*
ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲
マーラー：交響曲第4番*
料　金　S7,500 A6,500 B5,500 C4,500 Ex2,800
問合せ　都響ガイド 03-3822-0727

大野和士 ©HARUKI

ピエール＝ロラン・エマール ©Marco Borggreve

天羽明恵 ©Akira Muto

休館日：14日(月)・15日(火)

29(火) 19:00
都民劇場音楽サークル第642回定期公演
ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

指　揮　パーヴォ・ヤルヴィ
出　演　樫本大進(Vn)
曲　目　シューマン：歌劇『ゲノフェーファ』序曲
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲
シューマン：交響曲第3番「ライン」
料　金　S15,000 A12,000 B9,000 C6,000
問合せ　都民劇場 03-3572-4311

パーヴォ・ヤルヴィ ©Julia Bayer

樫本大進 ©Daisuke Akita

30(水) 19:00
MIN-ONクラシック・プレミアム
チャイコフスキー2大協奏曲の夕べ

指　揮　渡邊一正
出　演　伊藤マレーネ(Vn)
加藤大樹(Pf)
曲　目　チャイコフスキー：歌劇『エフゲニー・オネーギン』より“ポロネーズ”
ピアノ協奏曲第1番
ヴァイオリン協奏曲 他
管弦楽　東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
料　金　S6,000 A5,500 B5,000 C4,500
問合せ　MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999

渡邊一正 © 満田 聡

伊藤マレーネ ©Johann Sebastian Hanel

加藤大樹

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館及び他会場で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、インターネットでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

◆営業時間　10:00～19:00
◆TEL　03-5685-0650
◆HP　http://www.t-bunka.jp/
◆休業日　9月／12日(月)・13日(火)
10月／3日(月)*
11月／14日(月)・15日(火)
12月／12日(月)*・13日(火)*・29日(木)・30日(金)
*窓口休業【電話(10:00～18:00)・Webのみ受付】

●掲載情報は2016年7月31日現在のものです。
●主催者等の都合により、公演内容等が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A)/アコーディオン(Ac)/バリトン(Br)/バス(Bs)/バスバリトン(Bs-Br)/バンドネオン(Bn)/コルネット(Cort)/カウンターテナー (CT)/コントラバス(Cb)/クラリネット(Cl)/チェンバロ(Cem)/ドラムス(Ds)/ユーフォニアム(Eu)/ファゴット(Fg)/フルート(Fl)/フォルテピアノ(Fp)/ギター (Gt)/ヴィオラ・ダ・ガンバ(Gb)/ハープ(Hp)/ホルン(Hr)/キーボード(Key)/メゾソプラノ(Ms)/マリンバ(Mar)/オーボエ(Ob)/オルガン(Og)/ピアノ(Pf)/パーカッション(Pc)/ソプラノ(S)/サックス(Sax)/テノール(T)/トロンボーン(Tb)/ティンパニ(Tim)/トランペット(Tp)/チューバ(Tu)/ヴィオラ(Va)/ヴィブラフォン(Vib)/チェロ(Vc)/ヴァイオリン(Vn)/ヴォーカル(Vo)/ソプラノサックス(S-Sax)/アルトサックス(A-Sax)/テナーサックス(T-Sax)/バリトンサックス(Br-Sax)/リコーダー (Rec)/シンセサイザー (Syn)/コーラス(Cho)

小ホール

1(火) 19:00
エンリコ・オノフリ バロック・ヴァイオリンリサイタル

出　演　エンリコ・オノフリ(Vn) リッカルド・ドーニ(Cem)
杉田せつ子(Vn) 懸田貴嗣(Vc) 乗形亜樹子(Og)
曲　目　J.S.バッハ：シャコンヌ 他
料　金　指定S5,000 A4,000 自由B3,000
問合せ　チパンゴ・コンソート 080-3087-1805

2(水) 19:00
Music Program TOKYO／Music Festival TOKYO プラチナ・シリーズ第4回 タチアナ・ヴァシリエヴァ(Vc) 主催公演 P6,11 参照

曲　目　J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番、第5番 他
料　金　S5,000 A4,000 B2,500
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

3(木・祝) 13:30
アントネッロ『エソポのハブラス』

演　目　『エソポのハブラス』〈イソップ寓話〉
出　演　濱田芳通(Rec、Cort、音楽監督) 石川かおり(Gb)
西山まりえ(Cem、Hp) 中嶋克彦(T) 他
料　金　指定席(A～M列) 5,000(当日5,500)
自由席(N～W列) 4,000(当日4,500)
問合せ　アントネッロ・コンサート anthonello.concert@gmail.com

4(金) 19:00
長島剛子(S)・梅本 実(Pf) リートデュオリサイタル

曲　目　マーラー：子供の不思議な角笛より 他
料　金　自由4,000　問合せ　日本演奏連盟 03-3539-5131

5(土) 14:00・19:00
佐藤久成 ヴァイオリンリサイタル

出　演　佐藤久成(Vn) 小田裕之(Pf)
曲　目　サン＝サーンス：ヴァイオリンソナタ第1番 他
料　金　S5,000 A4,000
問合せ　コンサートイマジン 03-3235-3777

松本 愛 ピアノリサイタル～ファンタジーの夕べ～

曲　目　ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番「月光」他
料　金　自由3,000 学生2,000
問合せ　アルペンミュージックオフィス 03-5739-1663

6(日) 14:00
澤 和樹(Vn)・蓼沼恵美子(Pf) デュオ結成40周年記念リサイタル

曲　目　ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第6番 他
料　金　自由4,000 学生3,000　問合せ　アスペン 03-5467-0081

7(月) 19:00
長岡京室内アンサンブル 東京公演

出　演　森 悠子(Vn・音楽監督) 他
曲　目　ヴィヴァルディ：四季 他
料　金　自由5,000 学生3,000
問合せ　ヒラサ・オフィス 03-5429-2399

8(火) 18:45
日本モーツァルト協会 第583回例会

出　演　カリスト・クァルテット カリン・ボネッリ(Fl)
曲　目　モーツァルト：フルート四重奏曲 ニ長調 K285 他
料　金　自由5,000 学生2,000
問合せ　日本モーツァルト協会 03-5467-0626

9(水) 19:00
三輪 郁 ピアノリサイタル

料　金　未定
問合せ　KCMチケットサービス 0570-00-8255

10(木) 18:30
日本テレマン協会 第237回定期演奏会

出　演　延原武春(指揮・Ob) テレマン室内オーケストラ
曲　目　ペルゴレージ：幕間劇『妹に恋した兄』序曲 他
料　金　自由3,500(当日4,000) 65歳以上2,000
問合せ　日本テレマン協会 06-6345-1046

11(金) 19:00
東京文化会館モーニングコンサート 番外編 秋の夜コンサート 主催公演 P11 参照

出　演　押部朋子(Fl) 居石和代(Ob) 景山梨乃(Hp)
曲　目　クヴァンツ：トリオソナタ ハ短調 他
料　金　自由500　問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

12(土) 19:00
岡田博美 ピアノリサイタル 2016

曲　目　ドビュッシー：12のエチュード 他
料　金　S5,000 A4,000 B2,000
問合せ　カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

13(日) 13:00
仲道郁代 オール・ショパン・プログラム

曲　目　ショパン：バラード第1番 他
料　金　S5,400 A4,300 S学生2,700 A学生2,100
問合せ　ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

16(水) 19:00
中井恒仁＆武田美和子 ピアノデュオリサイタル “ピアノの芸術” Vol.2

曲　目　ラフマニノフ：組曲 第2番 他
料　金　自由5,000
問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

17(木) 19:00
山本美樹子(Vn) 村田千佳(Pf) デュオリサイタル

曲　目　シューマン：幻想曲 ハ長調 op.131 他
料　金　自由3,500 学生2,000
問合せ　インターミューズ・トーキョウ 03-3475-6870

18(金) 19:00
井上 鑑「楽創會2016」－井上頼豊没後20年を記念して－

出　演　井上 鑑(作編曲・Pf・ヴォイス 他)
古川展生(Vc) 長谷川陽子(Vc) 野坂操壽(二十五絃箏) 他
曲　目　井上 鑑：Prima O Poi (井上頼豊生誕100周年コンサート委嘱曲) 他
料　金　指定5,000
問合せ　Ro-Onチケット 047-365-9960

19(土) 14:00・19:00
朴 葵姫 ギターリサイタル

曲　目　ブローウェル：旅人のソナタ 他
料　金　指定5,000　問合せ　コンサートイマジン 03-3235-3777

東京室内管弦楽団 ～Chamber Music Style op.5～

出　演　林 憲秀(Ob) 菅野宏一郎(指揮・Cem)
曲　目　ヴィヴァルディ：オーボエ協奏曲 ハ長調 他
料　金　自由4,000　問合せ　東京室内管弦楽団 03-6459-0512

20(日) 14:00・19:00
柳川 守 ピアノリサイタル2016

曲　目　ラヴェル：クープランの墓 他
料　金　自由6,000 高校生以下3,000
問合せ　アーツ・プラン 03-3355-8227

カナディアン・ブラス

曲　目　J.S.バッハ／R.ロム編曲：小フーガ ト短調 他
料　金　指定6,000 学生3,500
問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

21(月) 19:00
新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO55 三宅 晋 クラリネットリサイタル

出　演　三宅 晋(Cl) 小野可奈子(Pf)
曲　目　プーランク：クラリネットソナタ 他
料　金　自由2,500　問合せ　日本演奏連盟 03-3539-5131

22(火) 19:00
コール・ジューン 20周年記念演奏会

出　演　甲田 潤(指揮) 東 由輝子(Pf) 由谷一幾(Pc) Chor June(合唱)
曲　目　松村禎三／甲田 潤　編曲：女声合唱、打楽器とピアノのための「阿知女」他
料　金　自由2,500
問合せ　コール・ジューン事務局 cj.concert@gmail.com

23(水・祝) 14:00
デビュー20周年記念 宮谷理香 ピアノリサイタル

曲　目　ショパン：バラード全曲 他
料　金　SS5,000 S4,000 U-25(25歳未満)2,000
問合せ　コンサートイマジン 03-3235-3777

24(木) 19:00
第20回 相曽賢一朗 ヴァイオリンリサイタル

曲　目　J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番 他
料　金　自由3,500(当日4,000) 学生1,500
問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

25(金) 19:00
吉原すみれ パーカッションリサイタル2016

出　演　吉原すみれ(Pc) 山口恭範(Pc)
曲　目　岸野末利加：ヴィオラ～パーカッションソロのための 他
料　金　自由4,000 学生2,000
問合せ　東京コンサーツ 03-3200-9755

26(土) 14:00
新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO56 松原 友 テノールリサイタル

出　演　松原 友(T) 小林道夫(Pf)
曲　目　シューベルト：白鳥の歌 他
料　金　自由2,500
問合せ　日本演奏連盟 03-3539-5131

27(日) 14:00
クァルテット・エクセルシオ 第31回東京定期演奏会

曲　目　メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 第5番 他
料　金　自由4,000 シニア2,000 学生1,000
問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

28(月) 19:00
家喜美子 チェンバロリサイタル

曲　目　J.S.バッハ：トッカータ ハ短調 他
料　金　自由4,000 学生2,000
問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

30(水) 19:00
徹の笛 ～第八回 福原徹 演奏会

出　演　福原 徹(篠笛・能管) 中川俊郎(Pf)
鶴澤津賀寿(太棹三味線) 善養寺惠介(尺八)
曲　目　福原 徹：千年の桜 他
料　金　自由5,000 学生2,000
問合せ　日本伝統音楽振興会 090-1814-9668

休館日：14日(月)・15日(火)

大ホール

2 金 14:30 / 3 土 13:30

松山バレエ団 2016Xmas公演『くるみ割り人形』

演　目　チャイコフスキー：『くるみ割り人形』全2幕
出　演　森下洋子　刑部星矢
指　揮　河合尚市
管弦楽　東京ニューフィルハーモニック管弦楽団
料　金　GS13,000 S11,000 A9,000 B8,000 C6,000 D4,000
※3歳以上入場可
問合せ　松山バレエ団公演事務局
03-3408-7939

10 土 / 11 日 15:00

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念 オペラ『眠れる美女～House of the Sleeping Beauties～』【日本初演】

主催公演 P2～4,9 参照

演　目　オペラ『眠れる美女』
原　作　川端康成
作　曲　クリス・デフォート
台　本　ギー・カシアス、クリス・デフォート、マリアンヌ・フォン・ケルホーフェン
指　揮　パトリック・ダヴァン
演　出　ギー・カシアス
振　付　シディ・ラルビ・シェルカウイ
出　演　老人：オマール・エイプライム(Br)
女：カトリン・バルツ(S)
老人：長塚京三(俳優)
館の女主人：原田美枝子(俳優)
眠れる美女：伊藤郁女(ダンサー)
眠れる美女たち(コーラス)：原 千裕、林 よう子、吉村 恵、塩崎めぐみ
管弦楽　東京藝大シンフォニエッタ
料　金　S13,000 A10,000 B8,000 C5,000 D3,000
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

オマール・エイプライム ©Kurt Van der Elst

カトリン・バルツ ©Claudia Hansen

長塚京三

原田美枝子 ©平岩享

伊藤郁女 ©Kurt Van der Elst

16 金 19:00 / 17 土 / 18 日 14:00

東京バレエ団『くるみ割り人形』

演　目　チャイコフスキー：『くるみ割り人形』全2幕
振　付　ワシリー・ワイノーネンに基づく
出　演　クララ　くるみ割り王子
(16日)沖 香菜子　ダニール・シムキン
(17日)川島麻実子　秋元康臣
(18日)沖 香菜子　ダニール・シムキン
指　揮　井田勝大
管弦楽　東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
料　金　【16日・18日】S12,000 A10,000 B8,000 C6,000 D4,000 E3,000
【17日】S10,000 A8,000 B6,000 C5,000 D4,000 E3,000 ※17日のみ5歳以上入場可
問合せ　NBSチケットセンター 03-3791-8888

©Kiyonori Hasegawa

19 月 19:00

東京都交響楽団 第822回定期演奏会 Aシリーズ

P21 参照

指　揮　ヤクブ・フルシャ
曲　目　マルティヌー：交響曲第5番
ショスタコーヴィチ：交響曲第10番
料　金　S6,500 A5,500 B4,500 C3,500 Ex1,800
問合せ　都響ガイド 03-3822-0727

ヤクブ・フルシャ ©Zbyněk Maděryč

20 火 14:00

クリスマス／アヴェ・マリア

出　演　イリヤ・ヨーフ(Vn)
マリーナ・トレグボヴィッチ(S) ナタリア・マカロワ(S)
曲　目　三大アヴェ・マリア(J.S.バッハ／グノー編曲、シューベルト、カッチーニ)
J.S.バッハ：G線上のアリア
パッヘルベル：カノン　他
料　金　指定4,500
管弦楽　サンクトペテルブルグ室内合奏団
問合せ　光藍社チケットセンター
050-3776-6184

21 水 19:00

亀渕友香＆VOJA

曲　目　OH! HAPPY DAY　他
料　金　S5,500 A4,500
問合せ　Ro-Onチケット 047-365-9960

亀渕友香

22 木 18:30

第66回メサイア演奏会

指　揮　ドミニク・ウィーラー
出　演　東京藝術大学音楽学部声楽科学生及び大学院音楽研究科生
曲　目　ヘンデル：オラトリオ「メサイア(救世主)」
管弦楽　藝大フィルハーモニア
料　金　S4,200 A3,500 B2,500 C1,500
問合せ　朝日新聞 厚生文化事業団 03-5540-7446

ドミニク・ウィーラー

23 金・祝 14:00

東京労音 第128回「第九」演奏会

指　揮　浮ヶ谷孝夫
出　演　田村麻子(S) 杣友惠子(A)
田中豊輝(T) 大山大輔(Br)
曲　目　シベリウス：交響詩「フィンランディア」
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱付》
合　唱　東京労音「第九」合唱団
料　金　S7,500 A6,500 B5,500 C5,000
問合せ　Ro-Onチケット 047-365-9960

浮ヶ谷孝夫

24 土 18:30

都民交響楽団 2016年特別演奏会

指　揮　末廣 誠
出　演　文屋小百合(S) 菅 有実子(A)
宮里直樹(T) 河野克典(Bs)
曲　目　ウェーバー：歌劇『オベロン』序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱付》
管弦楽　都民交響楽団
合　唱　新都民合唱団
料　金　S2,000 A1,000
問合せ　都民交響楽団(根岸)080-3247-2869

末廣 誠

25 日 14:00

都響スペシャル「第九」

P21 参照

指　揮　ヤクブ・フルシャ
出　演　森谷真理(S) 富岡明子(A)
福井 敬(T) 甲斐栄次郎(Br)
曲　目　ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱付》
合　唱　二期会合唱団
料　金　S8,500 A7,500 B6,500 C5,500 Ex3,500
問合せ　都響ガイド 03-3822-0727

ヤクブ・フルシャ ©堀田力丸

28 水 14:00

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 第九特別演奏会2016

指　揮　高関 健
出　演　佐藤采香(Eu)
市原 愛(S) 林 美智子(Ms)
西村 悟(T) 堀内康雄(Br)
曲　目　ホロヴィッツ：ユーフォニアム協奏曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱付》
管弦楽　東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
合　唱　東京シティ・フィル・コーア
料　金　S8,400 A6,300 B4,200 C3,200
問合せ　東京シティ・フィルチケットサービス 03-5624-4002

高関 健 ©Masahide Sato

31 土 13:00 終演予定 23:55

ベートーヴェンは凄い！全交響曲連続演奏会2016

指　揮　小林研一郎
管弦楽　岩城宏之メモリアル・オーケストラ
(コンサートマスター：篠崎史紀)
出　演　市原 愛(S) 山下牧子(A)
笛田博昭(T) 青戸 知(Br)
合　唱　武蔵野合唱団
曲　目　ベートーヴェン：全交響曲
料　金　S20,000 A15,000 B10,000 C5,000 C2,000
問合せ　メイ・コーポレーション 03-3584-1951
※終演時間は演奏の都合により、変更になる場合がございます。

小林研一郎 ©山本倫子

休館日：12日(月)・13日(火)・29日(木)・30日(金)

小ホール

1 木 19:00

第32回 齋藤 行 クラリネットリサイタル

出　演　齋藤行(Cl) 藤井一興(Pf)
曲　目　ウィリアム・ハールストン：4つの性格的小品　他
料　金　自由4,000　問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

2 金 18:30

日本テレマン協会 第238回定期演奏会

出　演　高田泰治(Cem)
曲　目　J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲
料　金　自由3,500(当日4,000) 65歳以上2,000
問合せ　日本テレマン協会 06-6345-1046

3 土 14:00

ケマル・ゲキチ ピアノリサイタル

曲　目　リスト：パガニーニによる大練習曲より“ラ・カンパネラ”　他
料　金　指定5,500
問合せ　MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999

4 日 12:00 / 15:00

ふれあいトリオ～吉田恭子と仲間たち～

出　演　吉田恭子(Vn) 渡部玄一(Vc) 白石光隆(Pf)
曲　目　エルガー：愛の挨拶　他
料　金　障害をお持ちの方のための招待公演(事前申込制)
問合せ　Kトレーディング 03-6418-1008

5 月 19:00

石井啓子アンサンブルシリーズXXVII

出　演　石井啓子(Pf) 石井啓一郎(Vn)
石突美奈(Vn) 桜庭茂樹(Vc) 石井陽子(Fl)
曲　目　ラヴェル：ピアノ三重奏曲　他
料　金　自由4,000
問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

6 火 19:00

新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO57 古川貴子 ピアノリサイタル

曲　目　リスト：ピアノソナタ　他
料　金　自由2,500　問合せ　日本演奏連盟 03-3539-5131

7 水 19:00

東京シンフォニエッタ 第40回定期演奏会

出　演　板倉康明(指揮)
曲　目　ブーレーズ：主なき槌(ル・マルトー・サン・メートル)　他
料　金　自由4,000 学生2,000
問合せ　東京コンサーツ 03-3200-9755

8 木 19:00

田中晶子 ヴァイオリンリサイタル Vol.6

出　演　田中晶子(Vn) エフゲニー・シナイスキー(Pf)
曲　目　ブラームス：ヴァイオリンソナタ第1番「雨の歌」　他
料　金　自由3,000
問合せ　フラッグシップ・ジャパン 050-3633-6951

9 金 19:00

四人組とその仲間たち その23

出　演　須川展也(Sax) 寺嶋陸也(Pf) 松平 敬(声) 工藤あかね(声)　他
曲　目　池辺晋一郎、新実徳英、西村 朗、金子仁美、中村ありす
作曲の委嘱新作 全5曲
料　金　自由3,000 学生1,800
問合せ　全音楽譜出版社 03-3227-6280

10 土 14:00

室井摩耶子(Pf)トークコンサート

曲　目　ハイドン：ピアノソナタ 変ホ長調 Hob.XVI:52　他
料　金　自由5,000
問合せ　ゼール音楽事務所 03-3995-5221

19:00

山崎小桃 ソプラノリサイタル

出　演　山崎小桃(S) 小島さやか(Pf) ゲスト：星 洋二(T)
曲　目　レオンカヴァッロ：歌劇『パリアッチ』より
“大空を晴れやかに”　他
料　金　自由4,500 シルバー3,000 学生3,000
問合せ　プロスペリティー 03-3908-8604

11 日 14:00

アンサンブル・ロココ 第30回記念クリスマスバロックコンサート

出　演　ゲスト：北村京子(Vn)
曲　目　J.S.バッハ：「音楽の捧げもの」より トリオソナタ　他
料　金　自由3,500(当日4,000) 学生2,000
問合せ　ルイ・ムジーク(奥脇) 044-865-2702

14 水 19:00

今川映美子 ピアノリサイタル

曲　目　フォーレ：主題と変奏　他
料　金　自由4,000
問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

15 木 19:00

アンサンブル・レゾナンツ初来日 with イエルーン・ベルワルツ

出　演　イエルーン・ベルワルツ(Tp) 瀬尾和紀(Fl)
曲　目　J.S.バッハ／シトコヴェツキー編曲：ゴルトベルク変奏曲
(アンサンブル・レゾナンツによる弦楽合奏版)　他
料　金　S6,500 A5,000
問合せ　オカムラ＆カンパニー 03-6804-7490

16 金 11:00

東京文化会館モーニングコンサート Vol.100

主催公演 P11 参照

出　演　周防亮介(Vn) 三又瑛子(Pf)
曲　目　パガニーニ：ロッシーニの歌劇『タンクレディ』のアリア
「こんなに胸騒ぎが」による序奏と変奏曲　他
料　金　自由500
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

18:45

日本モーツァルト協会 第584回例会

出　演　ラ・ルーチェ弦楽八重奏団
曲　目　モーツァルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 K515　他
料　金　自由5,000 学生2,000
問合せ　日本モーツァルト協会 03-5467-0626

17 土 14:00

ミュージック・イン・スタイル 岩崎 淑シリーズ Vol.39

出　演　岩崎 淑(Pf) アレクサンドル・ヤコブレフ(Pf)
曲　目　ラフマニノフ：2台のピアノのための組曲 第2番　他
料　金　自由5,000 学生3,000
問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

20 火 18:30

五島記念文化賞オペラ新人賞研修記念 佐藤康子 ソプラノリサイタル

出　演　佐藤康子(S) フェデリーコ・ニコレッタ(Pf)
賛助出演：笛田博昭(T)
曲　目　プッチーニ：歌劇『蝶々夫人』より“ある晴れた日に”　他
料　金　指定4,000 学生1,500
問合せ　日本オペラ振興会チケットセンター 044-959-5067

21 水 18:30

佐々木秀実 ドラマティックコンサート

曲　目　聞かせてよ愛の言葉を　他
料　金　指定5,500
問合せ　Ro-Onチケット 047-365-9960

22 木 19:00

Music Program TOKYO まちなかコンサート Vol.2「よりみちコンサート」

主催公演 P12 参照

出　演　多田将太郎(Tp) 上田智美(Tb)　他
曲　目　ガーシュウィン・イン・ブラス　他
料　金　自由500
問合せ　東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

23 金・祝 14:00

小林道夫 チェンバロ演奏会

曲　目　J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲
料　金　指定3,000
問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

19:00

第9回 東京旋律音楽会

出　演　鄭宇(揚琴) 城 宏憲(T) 曹 雪晶(二胡)
国弘よう子(朗読・司会) 他
曲　目　宮城道雄：さくら変奏曲　他
料　金　自由4,800
問合せ　華宇創意(松坂) 090-3006-2185

24 土 14:00

第24回 和波孝禧(Vn)クリスマスバッハシリーズ

曲　目　J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンパルティータ 第2番　他
料　金　A4,500 B4,000
問合せ　AMATI 03-3560-3010

25 日 16:00

アンサンブル室町による「メリークリスマス、エリック・サティ！」

出　演　小倉貴久子(Fp) ローラン・テシュネ(Cem)
阿部加奈子(指揮) 浅井信好(ダンス)　他
曲　目　鈴木純明：委嘱作品　他
料　金　自由4,000(当日4,500) 学生2,500(当日3,000)
問合せ　東京コンサーツ 03-3226-9755

26 月 19:00

田中淑惠 メゾソプラノリサイタル

出　演　田中淑惠(Ms) 中井恒仁(Pf)
曲　目　ブラームス：4つの厳粛な歌　他
料　金　自由5,000 学生3,000
問合せ　プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

27 火 19:00

6人の俊英によるチェロアンサンブル

出　演　伊東 裕 伊藤悠貴 上野通明
岡本侑也 小林幸太郎 辻本 玲
料　金　自由4,500 学生3,000
問合せ　ソナーレ・アートオフィス 03-5754-3102

31 土 14:00 終演予定 21:30

ベートーヴェン弦楽四重奏曲 9曲演奏会

出　演　ストリング・クァルテットARCO
クァルテット・エクセルシオ
古典四重奏団
曲　目　ベートーヴェン：弦楽四重奏曲「ラズモフスキー1～3番」　他
料　金　指定8,000
問合せ　ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

休館日：12日(月)・13日(火)・28日(水)～30日(金)

音楽資料室より　MUSIC LIBRARY

音楽資料室は、昭和36年10月に開設された音楽専門の図書館です。クラシック音楽を中心として、民族音楽や邦楽、舞踊に関する資料（図書、楽譜、CD・LP、映像など）を所蔵しており、どなたでも無料で閲覧・視聴ができます。火曜から土曜は20時まで開室しております。コンサートの前やお仕事帰り等に、ぜひお立ち寄りください。

※音楽資料室は東京文化会館4階にあります。ご来室の際は、エントランスロビー奥のエレベーターをご利用ください。

2016年は、日本とベルギーの友好150周年にあたる年。各地で関連イベントが行われており、当館大ホールで12月に上演されるオペラ「眠れる美女」も、友好150周年を記念した催しのひとつです。今回の音脈では「ベルギー」をキーワードに、音楽資料室の所蔵資料をご紹介いたします。

LD

死の都

コルンゴルト作曲の「死の都」はベルギーのブリュージュを舞台にしたオペラ作品です。音楽資料室では映像資料を所蔵しています。

LD 歌劇「死の都」全曲
（1983年 ベルリン・ドイツ・オペラ）
請求記号：ALD-738～739
出 演：ジェームズ・キング、カラン・アームストロング ほか
指 揮：ハインリヒ・ホルライザー
演 出：ゲッツ・フリードリヒ
ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団・合唱団

CD

エリザベート・コンクール

ベルギーのブリュッセルで開催されるエリザベート王妃国際コンクール。日本人入賞者のコンクールでの演奏を収めたCDをご紹介します。

（写真左から）
CD「エリザベート・コンクールの日本人入賞者たちⅠ 仲道郁代 / 安彦千恵」
請求記号：2E7.26-27
CD「エリザベート・コンクールの日本人入賞者たちⅡ 若林顕／菅野美絵子／坂井千春」
請求記号：2E7.28-29

DVD

ニーベルングの指環

「眠れる美女」の演出も手がけるベルギーの演出家ギー・カシアス。2010年から2013年にかけてミラノ・スカラ座で上演された「ニーベルングの指環」（4部作）のDVDを所蔵しています。

（写真左から）
DVD「前夜祭 楽劇『ラインの黄金』」
請求記号：DVD1738
DVD「第一夜 楽劇『ワルキューレ』」
請求記号：DVD1736-1737
DVD「第二夜 楽劇『ジークフリート』」
請求記号：DVD2022-2023
DVD「第三夜 楽劇『神々のたそがれ』」
請求記号：DVD2024-2025

音楽資料室で所蔵している資料はすべて、実際に手に取ってご覧いただくことができます。目的の資料がみつからない、機器の操作方法がわからないなど、ご不明な点はカウンターの職員におたずねください。また、所蔵資料は一部を除きインターネットからも検索できますので、来室前の下調べにもお役立てください。みなさまのご利用をお待ちしています。

音楽資料室蔵書検索画面

閲覧室

音楽資料室ご案内

東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております。（電話受付時間：祝日を除く開室日の火～土曜 9～17時）インターネットでも所蔵資料を検索することができます。（http://t-bunka.opac.jp/）

TEL ▶ 03-3828-2111（代表）
URL ▶ http://www.t-bunka.jp/library/
＊コピーサービスを除き、料金は必要ありません。

開室時間

火曜～土曜13時～20時（コピー受付 18時30分まで）
日曜・祝日 13時～17時（コピー受付 16時まで）

休室日

・毎週月曜
・保守日等（9月13-14日、10月4-5・25日、11月15-16・29日、12月6・13-14日）
・年末年始（12月28日-1月3日）
＊休室日や開室時間は変更になる場合がございます。
詳しくは、ホームページのカレンダーや電話等でご確認ください。

TMSO news "2016.10-12"

都響ニュース vol.41

東京文化会館から上質の音楽を発信！

東京都交響楽団
音楽監督：大野和士　終身名誉指揮者：小泉和裕
桂冠指揮者：エリアフ・インバル　首席客演指揮者：ヤクブ・フルシャ

コンサートシーズン到来。都響指揮者が贈る充実のラインナップ

音脈読者のみなさま、いかがお過ごしでしょうか？
「芸術の秋」にふさわしく、東京都交響楽団は注目公演が目白押しです！
9月に登壇するエリアフ・インバルの、雄弁かつダイナミック、それでいて精緻な音楽作りにご期待ください。11月は都響の大切なレパートリーのひとつであるマーラーの交響曲を、音楽監督・大野和士の指揮でお楽しみください。世界的な名手であるピエール＝ロラン・エマールとの共演や、3月に登場するニコライ・ルガンスキーといった、超一流の共演者の顔ぶれに期待がふくらみます。12月の定期演奏会と「第九」は、ウィーン国立歌劇場、ロイヤル・コンセルトヘボウ管らに次々と客演する俊英ヤクブ・フルシャが登壇。都響デビュー40周年の小泉和裕は1月の定期演奏会で。
都響指揮者が総出演の定期演奏会Aシリーズにご期待ください。

2016年度定期演奏会Aシリーズ　各回19時開演　東京文化会館

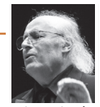
第814回　1回券：好評発売中

9月15日（木）

インバル80歳記念都響デビュー25周年記念

指 揮／エリアフ・インバル
ピアノ／アンナ・ヴィニツカヤ

グリンカ：歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第2番ト短調 op.16
バルトーク：管弦楽のための協奏曲 Sz.116


エリアフ・インバル ©堀田力丸

アンナ・ヴィニツカヤ ©Gela Megrelidze

第819回　1回券：好評発売中

11月28日（月）

指 揮／大野和士
ピアノ／ピエール＝ロラン・エマール
ソプラノ／天羽明惠＊

ベルク：アルテンベルク歌曲集 op.4＊
ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲 ニ長調
マーラー：交響曲第4番 ト長調＊

ピエール＝ロラン・エマール ©Marco Borggreve

天羽明惠 ©Akira Muto

第822回　1回券：好評発売中

12月19日（月）

指 揮／ヤクブ・フルシャ

マルティヌー：交響曲第5番 H.310
ショスタコーヴィチ：交響曲第10番 ホ短調 op.93

ヤクブ・フルシャ ©Petra Klackova

第824回　1回券：9/30（金）発売

2017年1月23日（月）

指 揮／小泉和裕
ヴァイオリン／ヨシフ・イワノフ

ウェーバー：歌劇『オイリアンテ』序曲 op.81
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 op.35
グラズノフ：交響曲第5番 変ロ長調 op.55

小泉和裕 ©堀田力丸

ヨシフ・イワノフ ©Eric Larrayadieu

第827回　1回券：9/30（金）発売

2017年3月21日（火）

指 揮／大野和士
ピアノ／ニコライ・ルガンスキー

ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調 op.15
ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 op.98

大野和士 ©Tomoko Hidaki

ニコライ・ルガンスキー ©Caroline Doutre Naive

TICKET ー定期演奏会Aシリーズ 1回券料金ー	S席	A席	B席	C席	Ex席
第814回・第819回・第827回	7,500	6,500	5,500	4,500	2,800
第822回・第824回	6,500	5,500	4,500	3,500	1,800

◎シルバーエイジ（65歳以上）、U25（25歳以下）割引等あり。詳しくはお問合せください。

都響スペシャル「第九」

12月25日（日）14:00開演　東京文化会館　一般発売：9/2（金）

指揮／ヤクブ・フルシャ
ソプラノ／森谷真理　アルト／富岡明子　テノール／福井 敬　バリトン／甲斐栄次郎　合唱／二期会合唱団
ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 op.125《合唱付》

S席 8,500円　A席 7,500円　B席 6,500円　C席 5,500円　Ex席 3,500円

ヤクブ・フルシャ ©堀田力丸

ご予約とお問合せ
都響ガイド 03-3822-0727　http://www.tmso.or.jp（ホームページからも予約できます）
〒110-0007 東京都台東区上野公園5-45 東京文化会館1階（月～金 10時～18時／土日祝休み ※主催公演開催日等は営業時間が変更となります。）

vol.64 会館からのお知らせ

東京文化会館友の会のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援してくださる舞台芸術ファンのための友の会『Club Wa-Wa（わぁーわ）』。Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味しています。

東京文化会館は、昭和36（1961）年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として、半世紀にわたる歴史を刻んでまいりました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、『Club Wa-Wa』の皆様に支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと願っております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。

【会員プラン】

①ベーシックプラン／年会費 2,160円	メルマガ、ホームページから情報をお届けするプラン
②クラシックプラン／年会費 2,700円	毎月1回ご郵送する会報誌から情報をお届けするプラン

【特　典】（ベーシックプラン、クラシックプラン共通）

①当館指定公演のチケット割引
②先行発売
③招待
④館内レストラン・ショップ割引
⑤ヤマハ銀座店5%割引（一部対象外）
⑥「音脈」郵送
⑦東京都歴史文化財団が運営する文化施設の入館料等の割引
⑧アトレ上野の対象店舗の各種サービス
⑨エキュート上野の対象店舗の各種サービス

【ご入会について】

東京文化会館1階のチケットサービスにてお手続き
TEL：03-5685-0650 受付時間10:00～19:00
決済方法：現金もしくはクレジット（DC、VISA、Master、Nicos）

ホームページにてお手続き
http://www.t-bunka.jp/wawa/how.html
決済方法：セブンイレブンもしくはクレジット

入会申込書の郵送＋銀行振込
入会申込書はお電話にて友の会事務局にご請求ください。ご郵送いたします。

お問合せ　東京文化会館友の会事務局 03-3828-1696（平日9:00～17:00 土日祝休み）http://www.t-bunka.jp/wawa/

vol.64 音脈 表紙について

東京文化会館の大ホールへ一歩足を踏み入れると、温もりのある空間に包まれるような気持ちを味わう方もいらっしゃるのではないでしょうか。椅子は、赤を基調に、青、緑、黄の椅子が散りばめられています。舞台を見つめると、左右にある木のレリーフが目に飛び込んできます。この舞台両脇の特徴のある木のレリーフは、実は音響を拡散する役割を担っています。この音響拡散体をデザインしたのは、彫刻家 向井良吉です。戦後の抽象彫刻を代表する作家です。表紙では大ホールの写真をコラージュしていますが、真ん中の木調の板が音響拡散体です。現在、東京文化会館ロビーにて、東京文化会館の建築の特徴や、建築における国立西洋美術館との関係性に関しますパネル展示を行っていますので、ご来館の際にはぜひご覧下さい。

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念 オペラ「眠れる美女 ~House of the Sleeping Beauties~」関連事業
映画「眠れる美女」上映会

吉村公三郎監督、新藤兼人脚本により、1968年に公開された映画「眠れる美女」を、東京都写真美術館にて特別上映を致します。（35ミリフィルム上映）

「眠れる美女」（1968年公開 近代映画協会 配給：松竹）

監 督　吉村公三郎
脚 色　新藤兼人
原 作　川端康成
製 作　絲屋寿雄、高島道吉
撮 影　佐藤昌道
出 演　田村高廣 山岡久乃 八木昌子 香山美子 松岡きっこ 初井言栄 北沢 彪 他

日 時　11月4日（金）18時30分開演 ※本編上映時間は約95分です。
解 説　福田淳子（昭和女子大学人間社会学部 准教授／川端康成学会常任理事）
場 所　東京都写真美術館 ホール
対 象　一般（定員190名）
料 金　500円

チケットのお申し込み　東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/ticket/　チケット発売日：9月10日（土）

日本三名泉のひとつ 有馬で憩う

心地よい奏と心温まるひとときを。

有馬グランドホテル
http://www.arima-gh.jp/

神戸中心部から好アクセス！
新神戸駅から車、電車で約30分
tel. 078-903-5489　兵庫県神戸市北区有馬町 1304-1

2016 日本最古の温泉地に、クラシック界期待のアーティスト！
Special concert

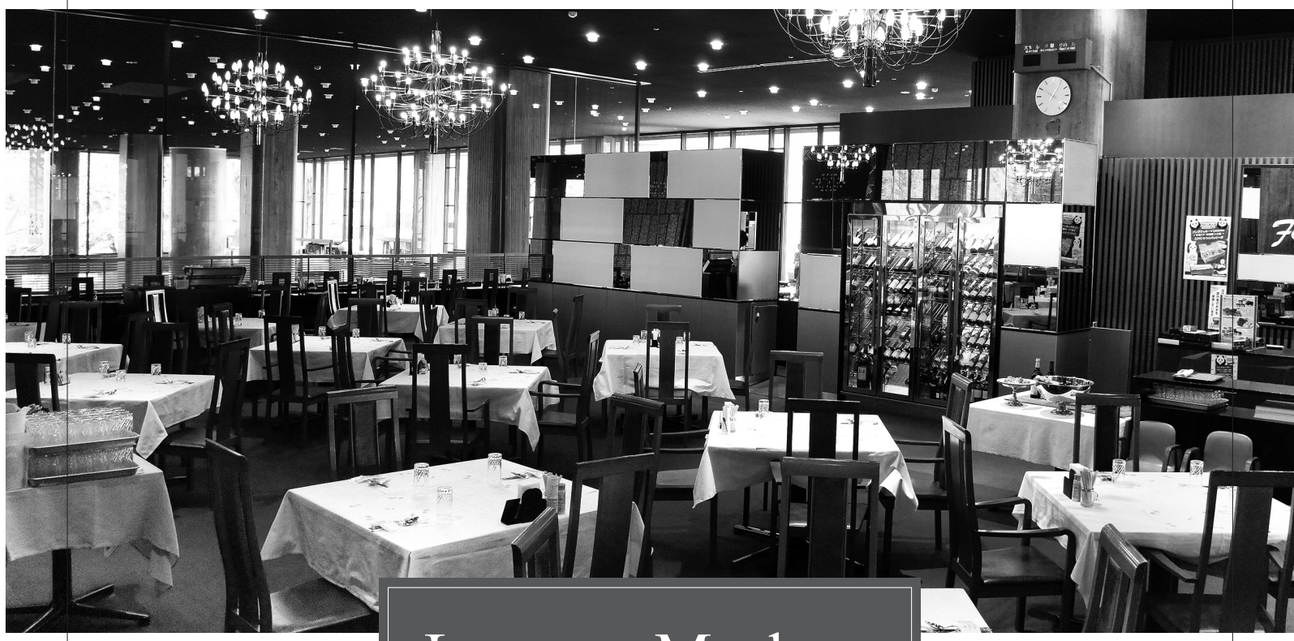
バイオリン
小川 響子 Kyoko Ogawa
クラシックミニコンサート
10/17（月）・18（火）　ご宿泊のお客様無料
◆Time 1部 20:30～/2部 21:15～
◆Place 有馬グランドホテル1階ラウンジ「ルシェッロ」
Profile
2012年 第10回東京音楽コンクール 弦楽部門第1位

2016年 12月 クラシックミニコンサート 開催スケジュール

ピアニスト
泊 真美子 12/22（木）・23（金）
Mamiko Tone

※詳しくはお問い合わせください。

Restaurant Forestier
レストラン フォレスティーユ 精養軒



Luxury Modern
ラグジュアリー・モダン
劇場の余韻に浸る空間

上野 精養軒

TEL 03-3821-9151
（東京文化会館　2階）
http://www.seiyoken.co.jp

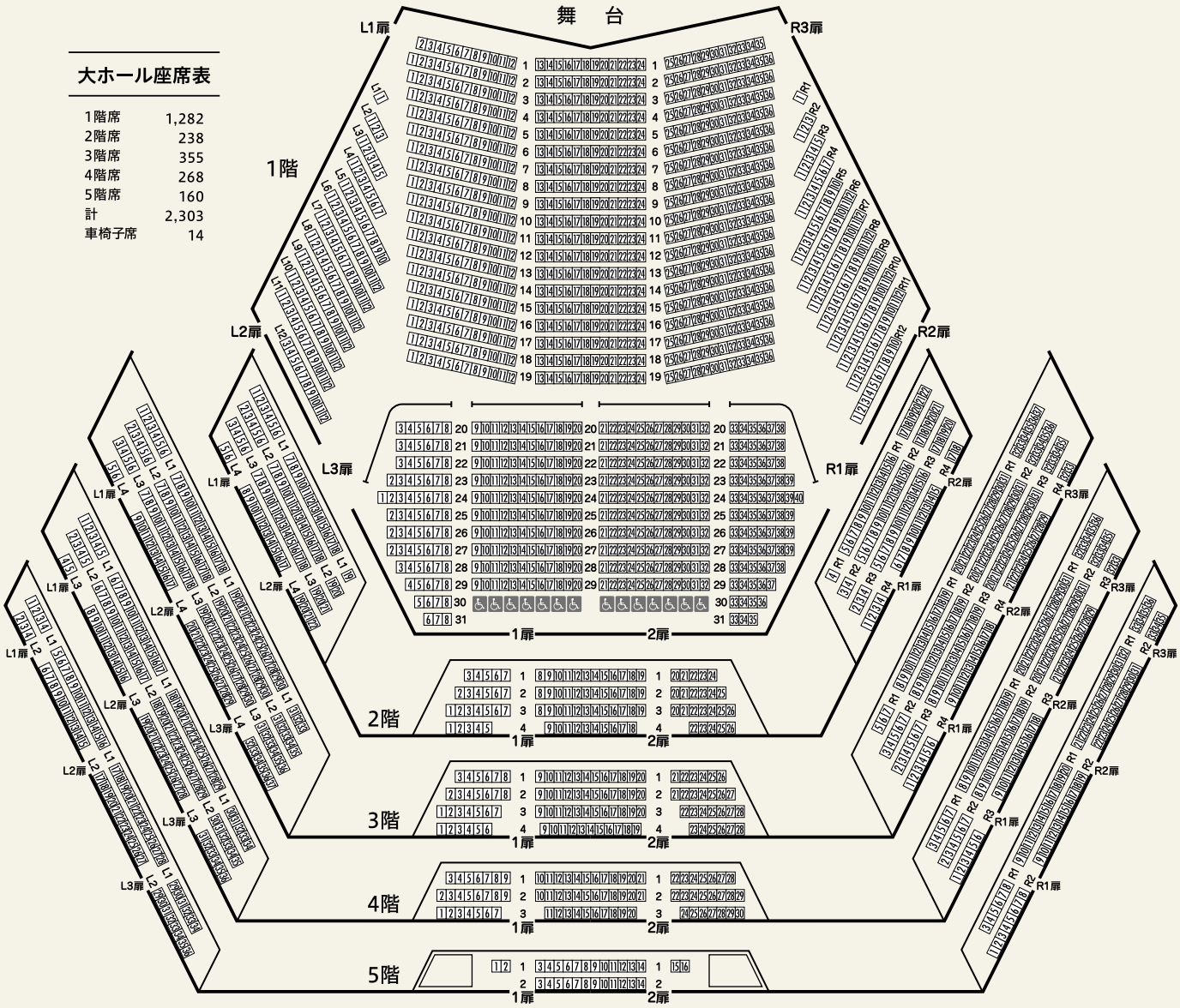
鼓動

vol.64
2016 AUTUMN

平成28年8月31日発行（年4回発行）
発行・編集
公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京文化会館
〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111（代）
http://www.t-bunka.jp/
デザイン
印刷・製本
有限会社インテグラルプラス
前田印刷株式会社

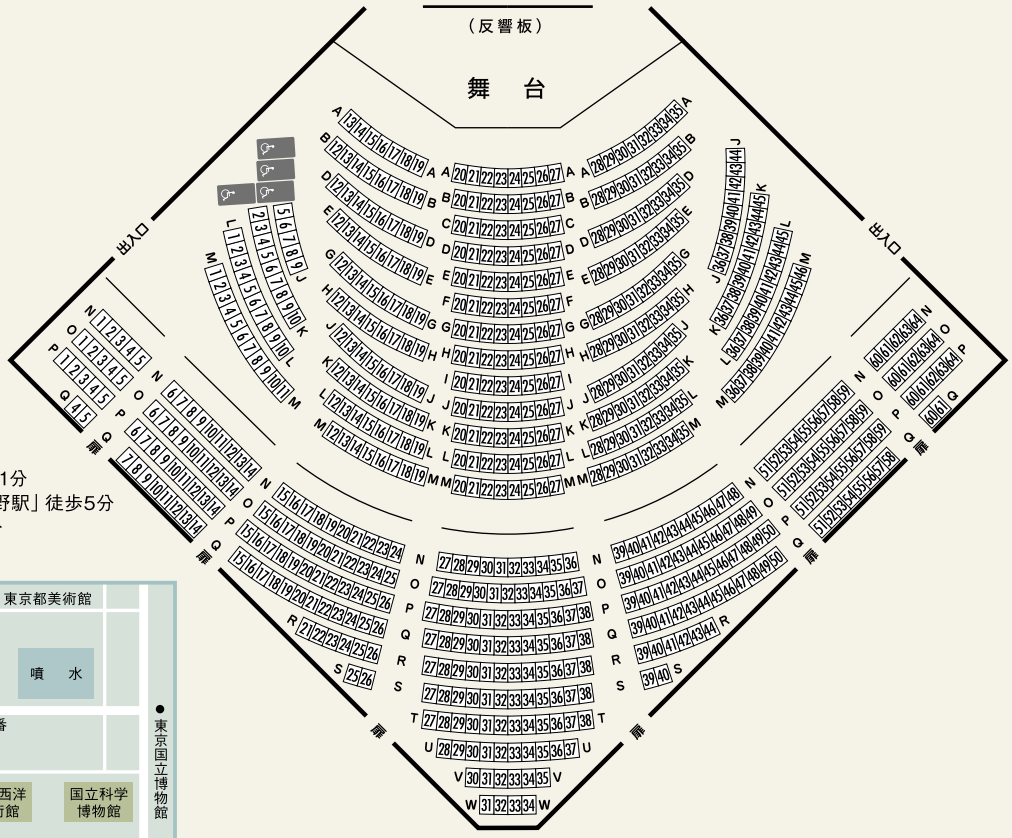
大ホール座席表

1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14



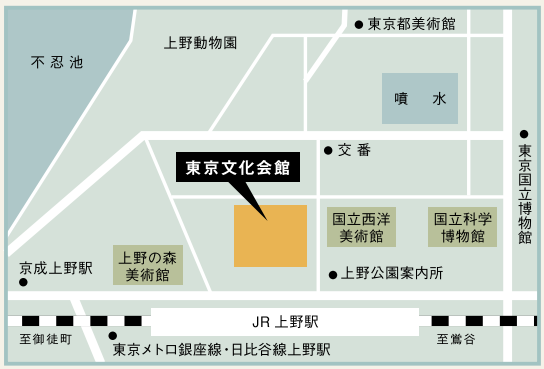
小ホール座席表

下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4



Access

◎JR線 ..... 「上野駅」公園口 徒歩1分
◎東京メトロ ..... 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
◎京成線 ..... 「京成上野駅」徒歩7分
※当館には駐車場はございません。



※ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。
あらかじめご了承ください。

CULTURE & TOKYO